

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 総務課		重点項目	・産業経済局の運営						
課長名	前田 泰史	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	2,541,896 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				令和4年度当初予算額(B)	2,533,330 千円		係長	2	人	
				増減額(A-B)	8,566 千円		職員	4	人	
				61,500 千円						

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			職員給	産業経済局の職員給	—	2,106,369	2,151,171	44,802
2			産業振興一般事務(総務課)	一般事務費	—	37,094	33,317	-3,777
3			繰出金	一般会計から特別会計(卸売市場、渡船、土地取得)への繰出金	—	389,867	357,408	-32,459

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 渡船事業所		重点項目	・安全で安定した運航を維持するため、渡船運航、施設管理全般に関する必要な経費を計上する。					
	課長名	安永 浩善		コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	441,200 千円	目安の金額	課長
令和4年度当初予算額(B)			430,200 千円			81,500 千円	係長		1 人
				増減額(A-B)	11,000 千円				職員

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			小倉栈橋改修事業	老朽化した小倉栈橋の改修	・2カ年事業（令和4年度、令和5年度）で係留ローラーの取替工事を行う。	13,000	17,000	4,000
2			渡船管理業務	若戸航路、小倉航路の渡船管理に係る経費	—	12,925	12,925	0
3			渡船運航業務	若戸航路、小倉航路の渡船運航に係る経費	・船舶検査及び修繕費、船舶燃料費、若戸航路運航等業務委託料（次期3カ年契約の初年度）を増額計上した。	297,000	310,052	13,052
4			職員費（渡船）	渡船事業所職員10名分を計上	—	77,408	75,861	-1,547
5	○		馬島待合所改修事業	馬島待合所の改修	—	3,700		-3,700
6	○		若戸航路新船建造概算設計等業務委託	若戸航路の新船建造に向けての検討	—	800		-800
7			繰出金	公債償還への繰出金	—	25,167	25,162	-5
8			予備費	予備費	—	200	200	0

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 産業政策課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・未来に向けて北九州市が成長していくため、(仮称)北九州市産業振興未来戦略を新たに策定する。 ・新型コロナウイルス感染症及び原油高・資材高等に対する経済対策の実行により、本市経済の活性化を図っていく。 					
	課長名	徳永 準也		コスト	事業費	人件費	目安の金額	課長 1 人	係長 2 人
			令和5年度当初予算額(A)	102,262 千円					
			令和4年度当初予算額(B)	322,234 千円					
			増減額(A-B)	-219,972 千円					

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○		<新>～北九州市の産業の未来をデザイン～産業振興戦略策定事業	未来に向けて北九州市が成長していくため、市の産業分野の状況を分析しつつ、産業の未来をデザインする(仮称)北九州市産業振興未来戦略を新たに策定するもの。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍やウクライナ情勢による影響、脱炭素化の流れなどにより、社会・経済状況が大きく様変わりし、その変化のスピードも早まっている。 ・加えて、人口減少や高齢化、低い経済成長率などの課題がある中、未来に向けて北九州市が成長していくため、市の産業分野の状況を分析しつつ、産業の未来をデザインする(仮称)北九州市産業振興未来戦略を新たに策定し、多くの投資が集まる「稼げる街」を目指す。 		16,000	16,000
2			地域経済再生に向けた機動的な情報発信事業	地域経済の再生に向けて、市内事業者をきめ細やかにフォローするため、タイムリーかつ迅速に経済支援策を周知するもの。	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な媒体(SNS、メルマガ、新聞折込等)を活用して、タイムリーかつ迅速に経済支援策を周知する。 	3,000	3,000	0
3			商工貿易会館改修事業	商工貿易会館に係る改修補修	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化しているトイレの改修工事実施設計を行う。 	239,600	3,900	-235,700
4			商工貿易会館運営(指定管理者管理業務)	商工貿易会館に係る指定管理業務	—	73,099	73,153	54
5			産業振興一般事務(産業政策課)	産業政策課における一般事務経費	—	6,535	6,209	-326

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 雇用政策課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用環境の変化に対応した支援を行うとともに、市内外からの新たな人材確保や人手不足業種への労働移動を促進することで、本市経済の活性化を図る。 ・市内企業における雇用維持の下支えと再就職にチャレンジする求職者等へのきめ細やかな支援 ・採用・就職活動のWEB化などに対応した新規卒者等の市内就職支援 ・市内企業のWEB等を活用した採用力強化と第二新卒等、市内外の多様な人材確保支援 ・高齢者や外国人等の人材を活かすための支援 						
	課長名	中川 茂俊		コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	423,719 千円	人件費	目安の金額	課長 2 人
						令和4年度当初予算額(B)	390,817 千円		係長 5 人	
						増減額(A-B)	32,902 千円		職員 9 人	

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			九州・山一円の新卒者地元就職強化事業	市内をはじめ、九州・山一円の学生の就職支援と市内企業の採用支援を目的に、合同会社説明会や業界研究イベント、学生と企業が出会う機会を従来の対面型に加えて、オンラインで提供する。	・就職関係イベントにおいて、令和5年度も引き続き、WEB等の効果的な活用を図り、市内外の学生の就職支援を促進する。	14,000	13,850	-150
2			人手不足企業への早期再就職・正規就職支援事業	市内3か所の就業支援施設のカウンセラーを増員し、企業に人材採用を提案する支援員を配置する。また、短期の資格取得や企業とのマッチングをトータルでサポートし、人手不足業種への円滑な労働移動を促進することで、失業者や就職氷河期世代の早期再就職を支援する。	・製造、介護等の業界において人手不足が続いており、短期資格取得や企業とのマッチングを通して労働移動を促進するとともに、失業者や就職氷河期世代への集中的な支援を行う。	35,000	38,130	3,130
3			外国人材就業サポート事業	「外国人材就業サポートセンター」を中心に、アフターコロナを見据えつつ、市内企業への留学生等の外国人材の受入れ促進を目的とした支援事業を実施する。	・令和5年度も引き続き、専門相談や留学生マッチングサポート等の支援事業を通し、さらなる市内企業へ留学生等の外国人材受入促進を図る。市内企業の経済活動も活発になってきたことや、令和4年度で開設から2年を迎え、市内企業、関係団体からの知名度が上がってきたことから、専門相談件数等も増加している。継続して外国人材雇用支援を行い、市内企業への人材確保支援強化を図る。	13,200	12,800	-400
4			アフターコロナの人材確保！外国人材活用促進事業	コロナ禍での外国人材の入国制限による製造業現場等の人材不足に対応するため、外国人材の雇用を考えている市内企業の実態把握や、外国人の受入れ支援機関と市内企業との相談会を行う。	・令和4年度に初めて実施した市内企業と関係団体の合同相談会は引き続き実施する。また、外国人材就業サポートセンターの専用HPを作成し、関係団体や市内企業の求人情報、イベント広報等を掲載し、市内企業の人材確保支援策のさらなる強化を図る。また、優秀な外国人IT人材を市内企業に導入するモデル事業を実施し、本市の人材確保に繋げる可能性を検討する。	3,000	6,000	3,000
5		○	シニアの働きやすいお仕事開拓事業	シニア層が働きやすい多様な求人を開拓し、雇用のミスマッチを解消することで、高齢者の就業率向上を図る。	—	4,632		-4,632
6			DX時代に対応した第二新卒等採用力強化事業	市内企業が全国から優秀な人材を獲得できるよう、WEB等を活用した「人材採用力」の育成から、全国の転職希望者が集まる民間転職サイトへの求人掲載までをトータルで支援するなど、U・Iターン転職を促進する。	・市内企業が優秀な人材を獲得できるよう、DX時代に対応した人材採用力育成スクールや個別コンサルティングを実施することで、企業の採用力を強化する。加えて、求人広告の掲載までをトータルで支援することで、市内企業の人手不足の解消及びU・Iターン転職者の増加を図る。	20,000	19,000	-1,000

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
7			北九州で働こう!U・I ターン応援プロジェクト	市内へのU・Iターン就職を希望する者と即戦力人材の確保を求める市内企業とをつなぐ本市独自のサービスとして、市内企業の求人情報の提供に加えて、専任コンサルタントによるカウンセリング、新規求人への発掘等を通して、U・Iターン就職支援を行う。	・引き続きU・Iターン応援オフィスにおける伴走型マッチング支援を行う。 ・全世代の優秀な人材と市内企業のマッチングを促進するために、民間企業と連携した多様な求人開拓や、人材採用の提案を行うなど、丁寧な支援を行う。	5,519	5,243	-276
8			北九州で働こう!U・I ターン応援プロジェクト (債務負担)			18,000	18,000	0
9			インターンシップ等推 進事業	インターンシップ事業の充実や市内企業と学生の交流会の開催など、学生と企業の出会いの場を提供することで、市内企業への就職や地元定着及び市内企業の人材確保を促進する。	・地元就職促進のため、令和5年度も引き続き、短期長期のインターンシップに取り組むほか、地元企業の若手社員と学生の交流会を実施するなど、企業のインターンシッププログラムの魅力向上を図る。	9,000	12,814	3,814
10			北九州ゆめみらいワー ク事業	高校生や中学生等を対象に、地元企業の仕事内容や地元大学のゼミ等について、直接聞き、体験できる「北九州ゆめみらいワーク」を開催し、各企業や大学等の魅力を伝えるとともに職業観を醸成し、将来的な地元就職につなげる。	・市政60周年事業として実施予定であり、各界から一層の盛り上がり期待されており、ここ数年新型コロナウイルスの影響により出展を自粛していた企業、参加中高生等の増加を図る。	29,000	30,000	1,000
11			セカンドキャリア支援 プロジェクト	U・Iターン求人支援員が、U・Iターン希望者を対象として市内企業を訪問し、潜在的ニーズを発掘するなど機能を強化する。	・セカンドキャリア事業賛同企業の開拓に向け、北九州しごとまるごと情報局(しごとまる。)登録企業へのメール配信を行うと共に、賛同企業に対してもセカンドキャリア人材リストをメールで送付するなど、デジタルを活用して事業を進める。	7,000	7,000	0
12			若者ワークプラザ北九 州運営事業	若年ワークプラザ北九州(小倉・黒崎)において、概ね40歳までの若年者及び氷河期世代の求職者を対象に、就業相談、各種就業関連情報の提供、セミナー、職場体験、職業紹介等により、若年者の就業支援を実施する。	・引き続き労働移動の促進と伴走型の就職活動支援を行っていく。 ・また、令和5年度新たに、地元企業人材確保窓口を開設し、人材確保アドバイザーを設置して、企業の採用に関する相談に対応する。	1,190	1,130	-60
13			若者ワークプラザ北九 州運営事業(臨時)			62,495	66,100	3,605
14			若者ワークプラザ北九 州求人求職者情報シ ステム運用保守事業(債 務負担)	若者ワークプラザ北九州で使用する情報システムの運用保守を行う。	—	3,200	2,299	-901
15			シルバー人材センター 運営補助	働く意欲のある高齢者に就業の機会を提供することを目的とした(公社)北九州市シルバー人材センターの運営補助を実施する。	—	47,500	47,500	0
16			KIPRO賃借料(若者ワ ークプラザ、U・Iター ンオフィス)	AIMビルに開設している「若者ワークプラザ北九州」および「北九州市U・Iターン応援オフィス」の賃借料(固定経費)	—	11,525	11,525	0
17			若者ワークプラザ(光 熱水費等)	「若者ワークプラザ北九州」および「若者ワークプラザ北九州・黒崎」両施設の賃借料以外の固定経費(光熱水費、管理費、清掃費等)	—	6,192	6,192	0

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
18			若年者正規雇用促進事業	市内企業を訪問して、国・県等が実施している正規雇用につながる助成制度やセミナー等の事業案内、企業における人材確保に関する課題・要望等の聞き取り、相談等に応じる。また、雇用情勢の改善により、人手不足となっている地元企業の人材確保を支援するため、市の就労支援施設に関する情報提供を行う。	・引き続き、市内中小企業の経営層と緊密に情報交換を実施することで、企業の抱えている課題の把握、企業に対して市内の求職者の状況や市の取組等の情報提供を行うことで課題解決に取り組む。	4,000	4,000	0
19			合同会社説明会等開催事業	地元企業情報の提供・マッチングの機会の創出、地元企業の若年者採用支援を行い、市内外の学生の地元企業への就職と市内定住の促進を図る。	・合同会社説明会の開催等において、対面及びWEBの利点を活用しながら、引き続き市内企業と求職者のマッチングの機会の創出を図る。	29,290	21,176	-8,114
20			高齢者就業支援センター運営業務(臨時)	高齢者就業支援センターを拠点として、高齢者に対し就業支援を実施する。また、就業に関連するセミナーを実施する。	・引き続き、シニア・ハローワーク戸畑等の関連機関と連携して、中高年齢者の就労を支援する。	23,797	23,800	3
21			中高年齢者雇用環境づくり事業	高齢者就業支援センターの固定経費(電話料、光熱水費、警備・清掃費等)、福岡県シルバー人材センター連合会、全国シルバー人材センター事業協会への負担金など。	・行政財産貸付料(高齢者就業支援センター内入居団体への賃借料)を見直し、特定財源の確保に努める。	7,887	8,025	138
22			高齢者就業支援センター求職者情報管理システム運用保守業務	高齢者就業支援センターの求職者情報管理システムの運用保守を行う。	・システムの導入により、市民サービスの向上と効率的な運用を図る。 ・令和4年度はシステム導入初年度であり初期費用が必要であったが、令和5年度以降は運用保守費用のみが必要となる。	1,300	597	-703
23			安心して働ける労働環境づくり事業	安心して働ける労働環境を作るため、労働相談を行うほか、ガイドブックの配布等による広報・啓発を実施する。	・事業場への指導監督権限を有する労基署の労働相談窓口への案内強化を図ること で、市の労働問題相談会の事業見直しを図る(事業廃止)。 ・毎年実施している「北九州市雇用動向調査」において、例年通りの郵送(紙ベース)に加え、WEB調査も並行して導入することから、委託料見込み額を増額。	11,021	10,795	-226
24			労政一般(産業経済局)	一般事務費	・在宅勤務や外勤等に使用する課共有の携帯電話を契約するため、役務費を増額。 ・課内の外勤が増え、ETC利用料金が大幅に増加していることから、使用料を増額。	13,899	10,546	-3,353
25			北九州技能伝承推進事業	高度技能者を「北九州マイスター」や「北九州技の達人」に認定するとともに、その技能を継承するための活動を支援する。	・北九州ゆめみらいワーク等の他事業との連携や学校等への更なる周知により、マイスターや技の達人の認知度向上を目指す。 ・技の達人の認定や技能伝承講座等を開催し、引き続き技能伝承活動の推進を図る。	8,170	7,797	-373
26			協同労働支援事業	令和2年12月に「労働者協同組合法」が制定されたことにより、出資・意見反映・労働が一体となり、地域課題を解決するための非営利の法人を簡便に設立できる制度ができた。令和4年10月に法律が施行されたことから、制度の積極な活用に向けて、制度に関する周知等を行うもの。	・令和4年10月に労働者協同組合法が施行され、介護福祉や子育て関連など様々な分野において、協同労働の仕組みを活用した地域課題の解決や多様な就労機会の創出が期待されることから、引き続き、制度の周知・活用に向けて広報等を行う。	1,000	1,000	0
27	○		<新>everiGoIT・DX人材裾野拡大事業	求職者が、仕事ですぐに役立つ実践的なデジタル・ビジネススキルを身に付け、企業のDX化、業務効率化を推進する人材となれるよう、初心者向けの講座を開催するとともに、市内の就業支援施設等と連携して地元企業とのマッチングを行う。	—		5,500	5,500

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
28	○		<新>市内企業の魅力・情報発信！ キタキュウ・コネクト 事業	アフターコロナでの経済活動の再開に伴い、企業は採用活動を強化しており、学生の就職活動の早期化が進んでいる。企業の魅力を伝えるショート動画の作成や企業見学ツアー等を推進することで、早期から学生と企業の接点を増やし、将来の市内就職を促進する。	—		2,000	2,000
29	○		<新> シニアと企業の 出会いの場創出事業 ～シニア活躍応援プロ ジェクト～	働く意欲のあるシニア人材の就業促進と市内企業の人手不足の緩和を目的に、企業向けのシニア活用セミナーと仕事体験付き合同会社説明会をセットにしたマッチングイベントを開催する。	—		6,400	6,400
30	○		<新>生産性向上・賃 金引上げ応援事業	市内の中小企業・小規模事業場の生産性向上と最低賃金引き上げを応援するため、国の業務改善助成金（生産性向上のための設備投資等への助成）の交付決定を受けた事業場に対して上乗せ補助を行う。	—		8,000	8,000
31	○		<新>現代の匠から未 来の匠への技能伝承～ 技能グランプリ後援事 業～	日本一の技能を競う技能グランプリが九州で初めて本市で開催されることとなった。技能者の地位向上と技能尊重機運の醸成、「ものづくりのまち北九州」のさらなる知名度向上に向けて、多くの方に来場いただけるよう周知広報や来場支援等を実施する。	—		5,000	5,000
32	○		<新>everiGo未経験者 向けIT人材育成事業	失業者や非正規労働者等を対象として、未経験であっても、約6ヶ月で市内企業のニーズに応じたITスキルを習得できるリカレント教育プログラムであり、北九州市立大学と本市が連携して、ITスキルの教育から、市内企業への就職まで、出口一体型のきめ細やかな支援を行うことで、成長分野(IT企業等)への労働移動(就職・転職)、地元企業のDX促進を図る。	—		11,500	11,500

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 スタートアップ推進課		重点項目	・スタートアップを発掘・育成するための支援体制を強化する。			
	課長名	コスト		事業費	令和5年度当初予算額(A)	307,870 千円	目安の金額
令和4年度当初予算額(B)			315,015 千円		人件費	79,000 千円	
		増減額(A-B)	-7,145 千円				職員

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			スタートアップSDGsイノベーショントライアル事業	成長見込みのあるスタートアップ企業が行う事業化や実証実験の取組みに対して、補助金の交付に加え、産学官金が連携して市内企業との協業や販路拡大など企業の成長を後押しすることで、スタートアップの力で本市産業の活性化を図る。	・支援しているスタートアップ企業の着実な成長と有望なスタートアップ企業の集積を図るため、首都圏での情報発信やジェットロと連携したグローバル展開支援などを強化する。	90,000	90,000	0
2			スタートアップエコシステム推進事業（創業支援）	民間主体で事業拡大を支援するグローバルアクセラレーションプログラムへの参画 法人化の手続きをワンストップでサポートする「開業ワンストップセンター」など、「スタートアップ・エコシステム推進拠点都市」としてスタートアップ企業の成長段階に応じた適切な支援を行う。	・開業ワンストップセンターについて、利用者のニーズに応じて、効率的な運営を行っていく。 ・グローバルアクセラレーションプログラムについて、スタートアップのニーズに応じて、適切な支援を図る取組を行っていく。	5,000	5,000	0
3			創業機運醸成事業	市内の創業機運醸成に係る各種イベントなどを実施する。	・優れたビジネスアイデアの具現化による起業家の創出や地元企業によるオープンイノベーション機会の創出に取り組む。	10,447	9,400	-1,047
4			保守部品の供給終了に伴うAIM防災システム更新工事	北九州テレワークセンターに防災システム（火災報知設備）を導入し、安全・安心な施設管理を行う。	-	1,053	1,053	0
5			北九州テレワークセンター管理運営事業	北九州テレワークセンターに係る指定管理業務	・令和5年度以降の新たな指定管理者の公募選定において、市内コワーキングとの連携を強化するなど、北九州テレワークセンターが市内の創業支援の拠点として役割を果たすよう取り組む。	117,965	104,180	-13,785
6			産業振興一般事務（スタートアップ推進課）	スタートアップ推進課における一般事務経費	・オンライン環境整備やセミナー回数増加による使用料の増加に伴い、一部経費について増額した。	3,240	3,372	132
7			北九州輸入促進センター賃借料	北九州輸入促進センター賃借料・共益費	・AIMビルにKTIセンターを構成する3機関（スタートアップ推進課、北九州貿易協会、ジェットロ北九州）がテナントとして入居することで、地域企業の国際ビジネスの利便性を高める。	9,351	9,351	0
8			国際競争力強化支援事業	海外での販路開拓や委託生産など、国際ビジネスを支援し、地域企業の国際競争力の向上を図る。	・ベトナムとの経済交流は、製造業を中心に現地企業とのマッチング支援を行う。 ・加工食品販路開拓は、米国で北九州フェアを開催するほか、商社や海外バイヤーとのマッチング支援を行う。 ・スタートアップについては、海外展開支援を行うと共に、海外スタートアップの本市への拠点設置や地元企業との協業支援を行う。	13,048	12,868	-180

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9			北九州市中小企業海外展開支援助成金	海外市場調査や見本市出展などに対して一部助成する。	・市場調査や海外見本市出展、海外進出に必要となる認証の取得など、市内企業の海外展開に対する支援を強化する。	5,000	4,500	-500
10			国際ビジネス拠点運営事業	AIMビル内のKTIセンターの機能充実・強化を図る。	・北九州貿易・投資ワンストップサービスセンター（KTIセンター）を継続して運営する。	53,239	53,074	-165
11			スタートアップ採用支援事業	スタートアップ企業の事業拡大に向けた支援の一環として、市内外で活躍する優秀な技術者や経営人材などの採用について、スタートアップ企業の個別ニーズに応じた支援を実施することで、スタートアップ企業の更なる成長を後押しするとともに、就職による市外流出の抑止、本市へのU・Iターン増加を図る。	・支援しているスタートアップ企業の採用課題や今後の採用計画等の個別ニーズを把握し、人材獲得のための伴走支援を行うことで、スタートアップ企業の成長を後押しする。	3,500	3,500	0
12			次代をけん引！北九州の未来のスタートアップ育成事業	未来を担う起業家が育つ環境づくりを促進するため、市内小中学生を対象に将来の起業家の育成を目的として、社会課題の発見や解決アイデアの考え方、実現に向けたチャレンジ精神など、起業経験者から学べるワークショップを実施する。	・令和5年度は経済教育を市内で行っているモデル校等を対象に、学校での総合科目の授業等で実施する予定。（小学校・中学校を想定。）	3,000	2,000	-1,000
13	○		<新>スタートアップエコシステム強化事業	スタートアップエコシステムの充実・強化を図るため、「ものづくり起業地帯」に形成に向けた機運醸成イベントの開催等に加え、福岡市との連携・交流事業を実施する。	・「内閣府スタートアップエコシステム推進拠点都市」として令和6年度までの集中取組期間を見据え、人材・事業・資金の好循環を生み出し、支援の輪を継続・拡大していくことが重要。若者がチャレンジできる環境整備に向けて、機運醸成イベントや起業前スタートアップコミュニティの形成など、「ものづくり起業地帯」の実現に取り組む。 ・福岡市とのスタートアップ支援事業の交流による北福連携強化に取り組む。		7,200	7,200
14			公用車リース	課の公用車についてリース契約を締結するもの。	—	172	172	0
15	○		<新>海外スタートアップ誘致プロモーション事業	スタートアップの日本進出が盛んなアジアを中心に、政府機関や支援機関、スタートアップ向けのプロモーションを行い、両地域の関係構築を行うことで海外スタートアップの誘致につなげる。	・海外スタートアップは日本に進出する際に、実証事業を通じた実績や顧客開拓の必要性を感じている。シンガポールのスタートアップ日本法人が2年連続で市の支援事業に採択され、全国からも注目を集めている。 そこで、現地で海外スタートアップ支援機関やスタートアップに対して本市の強みや特徴を活かしたプロモーション活動を行う。		2,200	2,200

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 中小企業振興課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業振興条例において定められている中小企業の振興を総合的に推進する。 ・「小規模企業振興基本法」に基づき、小規模企業の支援体制を強化し、持続的発展を支援する。 ・中小企業の経営力強化及び技術力・販売力の向上を図る。 		
課長名	遠藤 大介	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A) 50,842,468 千円 令和4年度当初予算額(B) 75,949,930 千円 増減額(A-B) -25,107,462 千円	人件費	目安の金額 94,000 千円 課長 1 人 係長 3 人 職員 7 人

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1		○	頑張る中小企業応援！ お困りごとリサーチ・ 相談サポート事業	市内中小企業者が抱える経営力強化の課題やニーズを的確に把握するため、アンケート調査を実施するとともに、専門相談員による企業訪問や経営相談を強化し、経営上の課題を抱える個別企業へのきめ細かな支援体制の構築を図る。	—	36,000		-36,000
2			原油高・資材高、コロナ禍等に対する事業者 総合相談窓口運営事業	新型コロナウイルス感染症により影響を受けている市内中小事業者等に対して、「資金繰り相談」「雇用調整助成金の申請支援」「事業者向けの各種給付金の相談」等の支援を行うもの。	・アフターコロナに向けた地域経済の復活のため、相談窓口の設置による資金繰り支援及び年間を通じた訪問相談を行う。	52,000	44,200	-7,800
3		○	中小・小規模企業総合 支援事業	「北九州市中小企業振興条例」を多くの企業や市民等に周知するとともに、中小・小規模企業の実態の把握とフォローアップ、中小企業団体等との意見交換など、条例の趣旨を実現するための事業を実施する。	・中小企業振興条例に定められた市の責務を果たすため、中小企業団体や学識経験者等の意見を聞きながら、施策に反映させる。	1,300		-1,300
4			事業承継・M&A促進化事業	事業承継の潜在ニーズの掘り起こしから経費の助成等を実施し、トータルでサポートすることにより、市内中小企業の円滑な事業承継を促進していく。	・「令和4年度北九州市中小企業実態調査」の結果をふまえ、事業承継の潜在的ニーズの掘り起こしを積極的に行う。	5,300	5,030	-270
5			雇用を守る事業承継・ 引継ぎ支援強化事業	後継者不在企業に対して、セミナー等によるM&A活用の啓発及び事業承継相談体制強化により、円滑な事業承継を支援することで、市内企業の経営資源の散逸防止や雇用の場の確保を図る。		5,600	3,400	-2,200
6			ものづくり中小企業職 場環境改善支援事業	中小製造業・建設業者が行う女性専用設備の設置や女性・高齢者の作業をアシストする機器導入、暑さ対策設備の設置・機器導入等、職場環境の改善に必要な経費の一部を助成することで、人手不足に苦しむ市内中小企業の人材確保・定着を支援する。	・企業ニーズ等を踏まえ、引き続き効率的な運営に努めていく。	6,000	6,000	0
7			中小企業人材確保支援 助成金	市内中小企業団体が、若年者や女性等の人材確保を目的として独自に取り組む、業界のイメージアップや職場環境の改善などを図る事業に必要な経費の一部を助成する。	・事業を活用した団体の取組を広報し、業界の理解やイメージアップに繋げる。	1,296	1,296	0
8			中小企業融資損失補償	中小企業融資の返済が不能となった場合に、福岡県信用保証協会の代位弁済により発生する損失の一部を補償するとともに、中小企業が負担する信用保証料の一部を補填することで、市内中小企業の円滑で有利な資金調達を支援する。	・コロナ対応融資の推移状況を踏まえ、損失補償額、信用保証料補填額が不足及び不用が過大になり過ぎないように、予算を算定した。	744,401	683,359	-61,042

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9			中小企業融資	市内中小企業者に対し、長期・低利の各種事業資金を融資する制度を運用する。	・新型コロナウイルス感染症により影響を受けている事業者の資金繰りに十分対応できる範囲で、多大な不用額が発生しないよう、令和3年度の実績も踏まえた予算額とした。	75,000,000	50,000,000	-25,000,000
10			中小・小規模企業資金調達円滑化支援事業	中小企業の融資相談窓口において、中小企業診断士等の金融相談員を配置し、市や県等の融資制度の中からそれぞれの企業に最適な制度を紹介する。	・企業ニーズ等を踏まえ、引き続き効率的な運営に努めていく。	5,523	5,255	-268
11			中小企業技術開発振興助成金	新技術・新製品開発に取り組む中小企業に対する研究開発費の助成を行うことにより、中小企業の技術開発力の向上と高付加価値企業への転換を促進する。	・企業ニーズ等を踏まえ、引き続き効率的な運営に努めていく。	21,116	20,321	-795
12			経営リーダー育成支援事業	戦略的思考力や果敢な行動力を有する経営リーダー、社内変革推進者、高度技術を持つ人材の育成など、企業の経営革新に大きな役割を担う中核人材の創出・育成を図るために、各種専門講座等を実施する。	・引き続き、ものづくり人材育成講座での技術者の育成や、中小企業大学校での受講を支援する施策を通じて、中小企業の人材育成に寄与していく。	1,400	1,400	0
13			オンリーワン企業創出事業	北九州発の独創的な技術・製品・サービスを提供する優れた中小企業を「オンリーワン企業」として認定し、これらの企業を本市の看板企業として、市内外に情報発信・プロモーションする。	・企業ニーズ等を踏まえ、引き続き効率的な運営に努めていく。 ・第7回オンリーワン企業の認定を行う。	3,000	3,000	0
14			ビジネスチャンス拡大支援事業	地元中小企業の受注拡大・販路開拓を支援する。 ①大規模展示会等出展支援事業 ②販路拡大支援事業 ③巡回指導・マッチングコーディネート事業 ④四都市連携交流事業 ⑤北九州発！新商品創出事業	・引き続き、中小・小規模企業のニーズに効率的かつ効果的に対応する。	15,064	14,654	-410
15			中小企業支援センター特定支援事業	市内中小企業のための窓口相談・専門家派遣・情報提供など、専門的かつ総合的なサービスを提供する。	・企業ニーズ等を踏まえ、適切かつ効率的な運営に努めていく。	18,041	17,370	-671
16			中小企業団体育成支援事業	中小企業支援機関や中小企業団体の事業費の一部を助成することで、中小企業の育成・振興を図る。	・補助交付額の見直しなどを含め、適切かつ効率的な運営に努めていく。	11,304	11,304	0
17			産業振興一般事務（中小企業振興課）	一般事務費	・事務費についても、引き続き適切かつ効率的な運用を行う。	20,585	20,879	294
18			起業家支援工場管理運営事業（公共）	ものづくり産業活性化のため、独創的な技術やアイデアをもつ中小企業に審査を経て、「起業家支援工場」を提供し、成長のための支援を行う。併せて、工場の維持管理も行う。	・企業ニーズ等を踏まえ、引き続き効率的な運営に努めていく。	2,000	2,000	0
19	○		<新>セカンドスタートアップ推進事業	事業承継の新たなスキーム「サーチファンド」を活用し、後継ぎ候補人材と後継者不在企業とのマッチングによる企業の成長や再生を促進する。	—		3,000	3,000

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 商業・サービス産業政策課		重点項目 ・商店街における消費喚起等の取組を支援し、商店街組織の維持・強化を図るほか、個店支援の取組も行い、地域商業の振興を図る。 ・集客イベント実施やリノベーションまちづくりなどにより、広域商業拠点としての魅力アップや中心市街地にふさわしいにぎわいづくりを図る。							
	課長名	楠本 祐子		コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	106,760 千円	人件費	目安の金額	課長 1 人
						令和4年度当初予算額(B)	561,265 千円		係長 3 人	
						増減額(A-B)	-454,505 千円		職員 9 人	

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○		<新>商店街リノベーションまちづくり推進事業	商店街における民間事業者のリノベーションまちづくり推進に向けた拠点整備の取組を、イベント開催などソフト面の支援で後押しすることで、官民連携による中心市街地の活性化を推進する。	—		6,000	6,000
2	○		<新>welcome商店街インバウンド支援事業(重点)	コロナ禍に伴う水際対策の緩和により、今後はインバウンドの回復が期待されている。この機を逃すことなく、訪日外国人旅行者を再び商店街で受け入れるための支援(DX推進、インバウンド対策の実証実験等)を行う。	—		6,000	6,000
4	○		<新>美食街道week推進事業	「北九州の魅力あふれる食」をテーマとしたイベントを開催し、多くの方に本市の魅力を知ってもらい来客につなげることで、街のにぎわいを創出する。	—		8,000	8,000
5			商店街魅力発信にぎわい創出事業	東田地区の集客を市内のにぎわい創出につなげるため、商店街の紹介や見どころエリアの情報発信、街なかのにぎわいイベント等を実施する。	・新型コロナウイルス感染症や物価高騰による影響を受けている商店街において、早急になぎわいをとり戻すため、引き続き集客イベントを実施する。 ・2度の火災からの復興に向けて動き始めている旦過地区でイベントを行い、元気に営業を再開した旦過地区の魅力を伝える。	12,000	9,000	-3,000
6		○	黒崎応援プロジェクト事業	令和2年8月にクロサキメイトが閉店し黒崎地区の活気が落ち込んでいる中、活気を取り戻すために令和3年度から黒崎地区でのイベント等を支援するもの。	—	11,000		-11,000
7		○	商店街プレミアム付商品券発行支援事業	福岡県の助成制度を活用して商店街等が自主的に取り組むプレミアム付商品券の発行を支援することにより、地域の消費を喚起し地域経済の活性化を図る。	—	430,000		-430,000
8			商店街等における火災及び自然災害からの再開支援事業	商店街等の被災事業者を支援するため、事業再開に必要な店舗移転経費や賃借料の補助を行う。	・令和4年4月及び8月の旦過市場火災、10月の枝光本町商店街火災を受け、従来の「北九州市商店街等における空き店舗の有効利用に関する補助金」の特例として、「災害復旧支援事業」を設け、被災事業者の店舗移転及び営業再開を支援してきた。同補助金の交付要綱では、火災等の発生から1年間の申請を認めており、被災から日を追う毎に、営業再開への相談、申請の件数も重ねているため、引き続き、支援を行う。		24,000	24,000

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9		○	黒崎で大きなシャッターヒラクモデルプロジェクト	クロサキメイトの閉館や新型コロナウイルス感染拡大の影響による来街者の減少を踏まえ、集客力のある店舗の出店を促し、受け皿となる規模の物件所有者と出店事業者を対象にした立地促進の特例事業を実施することにより、商店街エリアににぎわいを創出するもの。	・集客力のある店舗の出店を促すよう効果的な支援を行う。	30,000		-30,000
10		○	北九州市商圈調査	北九州市及び周辺に在住の主婦、独身者、高齢者等を対象に、消費購買行動等を調査し、北九州市の商圈構造がどのように変化してきているかを明らかにする。	—	20,000		-20,000
11			中小企業団体共同施設等設置補助	商店街組合等の中小企業団体が、アーケードや共同駐車場、省エネ型照明設備を設置等する場合に、経費の一部を補助する。	—	5,110	5,110	0
12		○	黒崎地区リノベーション事業	黒崎地区の空き物件等をリノベーションの手法により再生させ、商業の活性化及び魅力向上を図る。	—	12,000		-12,000
13			サービス産業振興事業	市内サービス産業の生産性向上を目的とし、サービス産業の振興に関する人材育成や具体的な活動の支援、デザイン産業の振興等を図る。	・市内サービス事業者の生産性向上に関する意識向上を図るため、関係機関と連携し、引き続き具体的な取組支援を行う。	3,157	3,200	43
14			リノベーションまちづくり推進事業	遊休不動産の再生を通じ、雇用の創出並びに街なかのにぎわいづくりの拡大を促進する。	・まちづくりエリア再生塾を継続して行い、事業化した案件については積極的にPRしていく。 ・本事業を通じて、まちづくりを実践できる人材を発掘し、地域の更なる賑わい創出に繋げることを目指す。	3,414	3,500	86
15			健康・生活産業振興事業	北九州市健康・生活産業振興協議会を核に、健康・介護、女性・若者、子育て・教育分野等の健康・生活サービス産業において、地域企業の支援やビジネスマッチング等の取組を通し、新たなビジネスの創出とサービスの向上を促進し、雇用の創出を図る。	・健康・生活産業の創出に向けたイベントやセミナーを継続して行い、関連企業等のネットワーク構築や新たなビジネスの創出の支援を行う。	3,968	4,000	32
16			商業人材育成事業	市内の企業経営者への支援や、次世代育成活動、経営者等の交流促進を通じ、人材の育成を図る。	・市内で商業を営む経営者や後継者等を対象に、専門のコンサルタントによる具体的かつ実践的な講座を開講し、コロナ禍における販売方法や物価高による仕入れ値高騰など具体的な対応の支援を行う。	2,103	2,200	97
17			商店街活性化支援事業	商店街における空き店舗の有効利用促進や、新たな事業への補助、活性化計画作りを支援することにより、商店街及び小売市場の活性化を促進する。	・コロナ禍にあっても、順調に支援実績を上げている当事業において、引き続き、空き店舗への開業支援を図るとともに、関係機関との連携等を通じて、よりきめ細やかな支援を行うことで、商店街及び小売市場への開業を促し、地域の活性化に繋げていく。	14,192	16,000	1,808
18			大規模小売店舗立地法運用事業	大規模小売店舗立地法の届出にかかる事務経費	—	605	600	-5
19			食品ブランド化・販路開拓支援事業	市内の中小食品製造業の販路開拓等を支援することにより、当該企業の成長と地域経済の振興を図る。	・本市の食文化が100年フードに認定され、徐々に市内外へ認知が広がっている事を踏まえ、継続して販路開拓や拡大に繋がるイベントの開催や展示会商談会等への出展支援などを行い、本市の食文化を積極的にPRする。	7,619	9,900	2,281
20			堺町公園魅力向上事業	飲食屋台等の出店が予定される堺町公園での新たなにぎわい創出につなげるため、PRやイベントによる魅力的な雰囲気づくりの支援を行う。	・令和4年4月に堺町公園屋台村がオープンした。令和4年度はコロナ禍の影響により、これまで開催されていたはしご酒イベントや毎月イベントが実施できておらず、周辺の人通りが戻っていない。そこで、落ち込んだ消費の回復やまちのにぎわいを取り戻すため支援する。	1,500	1,800	300
21			産業振興一般事務（商業・サービス産業政策課）	一般事務費	—	4,597	7,450	2,853

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 次世代産業推進課		重点項目 ・地元企業の高度化・新製品開発支援のため、研究開発の促進を行う ・外郭団体の事業や組織の更なる選択と集中を図る一方、戦略的分野（ロボット、情報産業）を中心に研究開発を推進するとともに、その成果が実用化・事業化へつながるような科学技術イノベーションの好循環を創る。					
	課長名	森永 健一		令和5年度当初予算額(A)	2,102,118 千円	人件費	目安の金額	課長 2 人
				令和4年度当初予算額(B)	2,003,769 千円		118,000 千円	係長 5 人
コスト	事業費	増減額 (A - B)	98,349 千円	職員 6 人				

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○		<新>未来を拓く次世代産業推進事業	地域産業の高度化や新たな産業の創出に向け、北九州学術研究都市を中心に、半導体や宇宙産業などの次世代産業について、研究開発の拠点化や人材育成・企業競争力の向上などを推進する。	・これまで蓄積した人材やノウハウを活かし、学研都市を中心に市とFAISの連携により、地域産業の高度化や次世代産業の創出を目指す。		78,500	78,500
2	○		<新>次世代自動車産業推進事業	地域企業の次世代自動車対応に向け、「パーツネット北九州」や「北九州自動運転推進ネットワーク」の運営及び技術開発や人材育成などの支援を行う。	脱炭素に関するサポートや、自動運転に関する実証支援を行う。		9,474	9,474
3	○		<新>新ビジネスモデル創造に向けたロボット・DX推進	ロボット・DX推進センターを中心として、市内企業の生産性向上や付加価値創出に向けて切れ目のない伴走支援を実施するとともに、ロボット・デジタル関連産業の振興を推進する。	・ロボット導入・DX実践を一体的に支援するため、「ロボットテクノロジーを活用した地方大学・地域産業創生事業」と「生産性向上のためのDX・デジタル化推進事業」を本事業に統合する。 ・より多くの中小企業の生産性向上や新たな付加価値創出に向け、ワンストップ相談窓口や経営層・管理社層向けスクールの拡充、ロボット・DX補助金の増額などを行う。		339,700	339,700
4	○		<新>カーボンニュートラル・グリーン成長推進事業	市内企業の事業変革や技術・サービスの創出など、グリーン成長に向けた機運醸成のための経営者向け講座や相談窓口の創設、専門家派遣などの伴走支援を実施する。	・中小企業の生産性向上、新事業展開などの事業変革を支援しているDXの取組みに加えて、GXの支援体制も整備したうえで、市内中小企業からのDX、GXの相談にワンストップで対応する。 ・カーボンニュートラルの時代において、ビジネスを展開していくためには、脱炭素に取り組むことが不可欠である。その取り掛かりとして、DXの取り組み同様、ビジネススクールを実施し、マインドセットを行うことで、企業の行動変容を促し、GX実践企業を増やしていく。		13,500	13,500
5		○	ロボットテクノロジーを活用した地方大学・地域産業創生事業	内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金」を活用し、産業用ロボットの研究開発を行うとともに、市内企業へのロボット等の導入支援体制を拡充し、生産性向上を支援する。	—	249,000		-249,000
6		○	生産性向上のためのDX・デジタル化推進事業	市内企業のDXを推進するため、「北九州市DX推進プラットフォーム」の取組みをさらに強化するとともに、DX実践に向けた市内企業への補助を拡充する。	—	100,000		-100,000
7			学術研究都市管理運営事業（施設改修工事）	北九州学術研究都市の老朽化した各建物・設備等の改修工事を行う。	・開設から20年が経過し、各建物、設備が老朽化している。至急対応が必要な箇所について予算設計を行う。	66,000	2,700	-63,300

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
8			学術研究都市「大学・関連施設地区」拠点化事業	学研2期の大学・関連施設地区の市有地の処分を行い、大学・研究機関等の集積を図る。	・大学・研究機関等の誘致を積極的に行い、区画に対するニーズ等を踏まえ、分譲用地の早期売却に努める。	249,359	310,500	61,141
9			公用車リース経費	学術研究都市にある次世代産業推進課分室用に、公用車のリース契約を1台行うもの。	—	196	196	0
10		○	学術研究都市20周年記念事業	学術研究都市が令和3年度で満20周年を迎えたことを記念し、地域住民も交えた記念事業を実施するもの。	—	3,000		-3,000
11			学術研究都市留学生宿舍管理運営事業	「アジアの中核的な学術研究拠点」を目指す北九州学研都市に、海外からの優秀な人材を受け入れるため、生活の基盤となる住宅の整備を図るもの。	・適切な施設管理を行うことで経費を削減し、引き続き留学生に対し住宅面での支援を行う。	102,780	102,676	-104
12			学術研究都市管理運営事業（債務負担）	北九州学術研究都市の各種機器、システムのリース料	・半導体機器のリース契約については、可能な限り再リースを行うことで契約金額の削減を行う。	49,687	6,832	-42,855
13			学術研究都市管理運営事業（指定管理）	民間等のノウハウを最大限に生かすことにより、利用者の多様なニーズに応え、市民サービスの向上を図り、多様で効果的な施設運営を図るもの。	・学術研究都市の一体的な運営を行うため、施設の管理運営、産学連携の推進を行う。	742,118	784,620	42,502
14			産業振興一般事務（次世代産業推進課）	一般事務費	—	8,596	8,169	-427
15			ロボット・DX推進事業	ロボット導入・DX推進により、地域産業の生産性向上に資する事業を実施する。	・ロボット導入・DX実践を一体的に推進することで、効率的な事業実施を図る。	40,546	32,456	-8,090
16			研究開発プロジェクト支援事業	市内企業の技術力の強化及び新事業の創出を図るため、産学連携による研究開発の取組みを支援する。	・大学・企業における研究開発プロジェクトについて、幅広い分野での支援を推進する。	50,900	50,148	-752
17			学術研究拠点推進事業	学術研究都市の一体的な管理運営、大学間連携、留学生支援、産学連携、地域連携、情報通信産業の振興及び中小企業支援等を推進する（公財）北九州産業学術推進機構に対し、運営費補助金を交付する。	・事業内容や働き方の見直しにより、管理運営業務の効率化を図る。	327,983	310,873	-17,110
18			高等教育研究機能充実事業（学研都市）	高等教育機関の充実及び機能強化を図ることにより、産学連携を通して既存産業の強化と新産業創出につなげ、北九州学術研究都市の整備と共に幅広い産業振興を図る。	・本市の産業を支える高度人材を育成する。	13,604	13,349	-255
19		○	ロボットテクノロジーを活用した地方大学・地域産業創生事業	内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金」を活用し、産業用ロボットの研究開発を行うとともに、市内企業へのロボット等の導入支援体制を拡充し、生産性向上を支援する。	—	0		0

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
20		○	学術研究都市管理運営事業（機器・設備更新）	北九州学術研究都市内の産学連携施設、共同利用施設における機器・設備の中で老朽化しているものについて更新を行うもの。	—	0		0
21		○	<新>学術研究都市管理運営事業（設備・機器の再リース、契約更新）	北九州学術研究都市の情報基盤としての役割を担う学術情報センターについて、その運営に必要な機器・設備が老朽化しているため更新を行うもの。	・教育系システム契約については、可能な限り再リースを行う。		18,425	18,425
22		○	<新>学術研究都市管理運営事業（個別施設計画策定業務）	北九州学術研究都市における施設の計画的な改修を行うべく、個別施設計画を策定するもの。	・学術研究都市は開設から20年が経過し、各建物、設備が老朽化している。このため未整備の中長期保全計画を早急に策定することで、計画的な大規模施設改修を実現させる。		20,000	20,000

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 観光課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の活性化に向けた、北九州市観光振興プラン実現のための取組を実施。 ・観光分野におけるDX・GXの取組を推進。 			
	課長名	酒井 俊哉		コスト	事業費	人件費	目安の金額
				令和5年度当初予算額(A)	693,572 千円		
				令和4年度当初予算額(B)	633,900 千円		係長 5 人
				増減額(A-B)	59,672 千円	155,500 千円	職員 11 人

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○		<新>若松北海岸アップデート事業	夕日の名所「遠見ヶ鼻」に代表される自然景観、地元産の新鮮な農水産物等の魅力的な食など、体験・滞在型の観光地として高いポテンシャルを有する若松北海岸の観光地化に向けた諸課題の整理とともに、今後観光地としての魅力向上に向けた調査・検討を行う。	・若松北海岸の観光地化に向けて、市街化調整区域の土地利用などの法的・制度的課題の整理、参考事例等の調査・分析を実施する。		3,000	3,000
2	○		<新>高付加価値ホテル誘致事前調査事業	旅の目的地となるような高付加価値ホテルの誘致に向けて、潜在的需要の把握・市内候補地の抽出など、誘致に必要な事前調査を行うもの。	・高付加価値ホテルの誘致に向けて、需要把握等の調査や誘致のあり方の検討等を実施する。		4,000	4,000
3	○		<新>もう一か所もう一泊を楽しむ「探検・北九州！ワンデイバス」事業	宿泊者向け市内路線バスの1日フリー乗車券の発行、お勧めモデルコースを紹介するQRコードを市内宿泊施設の各客室などに設置し、来訪者に、もう一か所、もう一泊を楽しんでいただく「プラスワン観光」を促進するもの。	・市内周遊バスやモデルコースのPRなどにより、もう一か所、もう一泊を楽しんでいただく「プラスワン観光」を促進し、市内での回遊性の向上や滞在時間の延長などを図るもの。		10,000	10,000
4	○		<新>夜景観光スポット創出整備事業	令和4年3月に、本市は『日本新三大夜景都市』に再認定され、第1位に選出された。次期再認定に向けて、新たな夜景観光スポットの創出・整備を行うもの。	・血倉山山頂以外の高塔山、和布刈、足立山等の夜景スポットを検討・整備する。		24,000	24,000
5	○		<新>北九州「旅のストーリー」磨き上げ事業	市内に点在している観光資源を一つのストーリーとしてつなぐモデルコースや、旅先での満足度を向上させる体験型観光メニューを更に磨き上げ、効果的なプロモーションを行うことで、市内周遊促進や観光客誘致を図る。	・コロナ禍による旅のスタイルの変化に対応した旅行需要を取り込むため、令和4年度はモデルコースの造成や体験型観光メニューの発掘を行った。令和5年度はこれらを活用して市内周遊を更に促進するため、体験型観光事業者へのアドバイザー派遣や市内周遊促進のためのイベントを実施し、本市ならではのストーリーを持ったモデルコースや体験型観光メニュー商品の磨き上げを行うとともに、効果的なプロモーションを行っていく。		8,000	8,000
6	○		<新>観光地点パラメータ調査事業	本市を訪れる観光客の宿泊等の特性及び観光実態を把握し、本市観光行政の基礎資料とするため、国の基準に基づき、年4回の聞き取りにより調査を行うもの。	・コロナ禍で変動し続けている本市の観光動向を調査し、今後の観光施策に活用する。		8,300	8,300
7	○		<新>東田・血倉山交通アクセス向上事業	本市の代表的な夜景スポットである血倉山から八幡東田地区（ジ アウトレット北九州）間の交通アクセスの向上を図るため、無料シャトルバスを運行し、観光客の回遊性を高める。併せて、更なる観光客の誘致のため、小倉北区から血倉山間の無料バスを運行する。	・八幡東田地区では、大型商業施設の開業以降、来訪者が増加しており、市内各所への回遊性の向上は本市の観光振興において重要な課題となっている。令和4年の大型商業施設の開業にあわせて、ジ アウトレット北九州と血倉山と結ぶ無料シャトルバスを運行しており、令和5年度は、利用者の多い土日祝日及び夏休み期間等に無料シャトルバスを運行する。		10,000	10,000

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
8			日本新三大夜景都市ブランドを活用した夜型観光促進事業	「日本新三大夜景都市 全国1位」のブランドを活かし、市民・観光客向けの夜景イベントやプロモーションを実施することで、本市の夜型観光を促進し、更なる誘客を図る。	・本市は令和4年3月に「日本新三大夜景都市」で全国1位に認定された。令和5年度もこのブランドを活かし、「第2回北九州プレミアム夜景フェス」の開催など、市民・観光客向けの夜景イベントやプロモーションを実施することで、本市の夜型観光を促進し、更なる誘客を図る。	10,000	10,000	0
9			インバウンド誘致強化事業	外国人観光客の本格的な回復に向けて、周辺自治体等と連携して各種プロモーションを実施するとともに、広報物多言語化などの受入環境整備を行う。また、本市への誘客を目的とした宿泊助成やクーポン配付等を実施する。	・アフターコロナにおいて増加が見込まれる訪日外国人観光客を本市に呼び込むため、周辺自治体等とも連携しながら各種プロモーションや受入環境整備を強化する。	15,000	42,000	27,000
10			メディアを活用した北九州観光PR展開事業	マイクロツーリズムを促進するため、県内及び近郊在住者を対象に、ローカルテレビ局の情報番組中に本市の観光情報を紹介するコーナーを設け、年間を通じた情報発信を行う。	・コーナー制作の質を維持・向上させるとともに、SNSの有効活用等による発信力の強化を図る。また、夜間、早朝に楽しめる観光素材の紹介を取り入れるなどして、市内への宿泊客の増加につなげる。	20,000	20,000	0
11			観光地ブランド力創出事業	観光情報サイト「ぐるリッチ！北Q州」及び各種SNS等により、観光の重要な要素である地域・人・食などのストーリーを伝え、おすすめのモデルコースを提案するなど、本市の観光地としての魅力をより広く効果的に発信することで、ブランド力を高める。	・主に「食」の魅力発信のため、観光情報サイト「ぐるリッチ！北Q州」内に、デジタルマップや食の特集ページを新たに制作する。また、同サイトの保守・管理運営・セキュリティを強化する。	5,000	5,000	0
12			観光案内ボランティア育成事業	本市の観光地としてのおもてなしや、地域活性化においても重要な役割を果たしている「観光案内ボランティア」の育成・制度運営を行う。また、より幅広い層に制度を周知し、利用促進や担い手確保を図るための調査・広報活動や、ホスピタリティの向上を図る。	・ボランティアガイドの人材は高齢化が進んでいることから、より幅広い世代から担い手を育成したい。そこで、観光系学科の学生等を対象としたボランティアガイド体験のモニターツアーを実施し、現行制度の課題点等を洗い出し、今後のガイド育成・制度運営に活かす。また、高齢が進んでいる現在のボランティアガイドを対象に、スマホ・タブレット等のデジタルツールの活用について研修を実施し、より質の高いサービスの提供に繋げる。	3,500	4,000	500
13			観光案内所運営等事業	市内4か所（小倉駅・門司港駅・北九州空港・ジ アウトレット北九州）の観光案内所の安定的な運営を図る。また、小倉駅・小倉城周辺での公衆無線LANの運用を行うもの。	・観光案内所の安定的な運営と案内所間の連携を図り、本市の観光地としての魅力を内外からの観光客へ発信、おもてなしをすることで、より質の高いサービスの提供につなげる。 また、小倉駅・小倉城周辺での公衆無線LANの運用を継続し、快適な街歩きをサポートする。	61,422	71,422	10,000
14			修学旅行などの団体旅行客誘致促進事業	修学旅行などの宿泊を伴う団体客の誘致を促進するため、本市へ修学旅行生を送客する旅行会社を対象とした助成金制度を実施するとともに、旅行会社、学校、教育会社を対象とした誘致活動を行う。	・SDGs学習のできるプログラムなど、本市の先進的な取り組みが認知されていることから、さらなる修学旅行の誘致に向けて、プログラムの充実を図るとともに、旅行会社向けの宿泊助成や誘致活動を行う。	20,000	18,500	-1,500
15			魅力ある旅行商品の造成促進事業	コロナ禍で打撃を受けた宿泊施設や旅行事業者への継続的な下支えと観光需要の取り込みを図るため、本市への宿泊または立ち寄りを含む旅行商品を造成した旅行会社に助成金を支給し、誘客を促進する。	・コロナ禍で観光業は大きな打撃を受けており、令和5年度も引き続き継続的に下支えするため、本市への宿泊または立ち寄りを含む旅行商品を造成した旅行会社に助成金を支給する。	98,000	18,000	-80,000
16			宿泊施設等改修支援事業	市内宿泊施設等による付加価値向上などに向けた新規投資の一部を補助し、宿泊客の満足度向上や宿泊施設等の生産性向上を支援するもの。	・宿泊施設等の付加価値向上を目的とした取組を進めることで、宿泊施設等の生産性向上だけでなく宿泊客の満足度向上にも繋がるため、当該取組に意欲的な宿泊施設等に対して、新規投資の一部を補助し、モデルを創出することで市内の宿泊業全体の底上げに繋げる。	13,300	12,000	-1,300

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
17			小倉城周辺歴史文化観光磨き上げ事業	長崎街道(シュガーロード)など、小倉城関連の歴史的・文化的資源の掘り起こしや、観光資源の磨き上げを図り、広域的な連携を含めた情報発信を実施する。	・日本遺産に認定された「シュガーロード」の歴史・文化を観光資源として活用するため、イベントを実施する。 ・小倉城周辺のにぎわいづくり創出事業を実施する。 ・小倉城及び小倉城庭園ライトアップのメンテナンスを行う。	10,000	13,000	3,000
18			血倉山周辺施設長寿命化推進事業(臨時A)	観光課が所管する血倉山周辺施設(血倉山ケーブルカー山麓駅、山上駅、展望台、ビジターセンター)の長寿命化を図るため、改修を行うもの。	・老朽化が進んでいる血倉山周辺施設(ケーブルカー駅舎、血倉山ビジターセンター及び血倉山山頂展望台)について、長寿命化を図るため、耐震や外壁改修及び屋上防水等の実施や、建物・設備点検にて判明した浄化槽の補修や防火設備の改修等を行うもの。	38,700	63,500	24,800
19			血倉山周辺施設長寿命化推進事業(老朽化A)			38,400	38,400	
20			小倉城統槽基本計画及び耐震補強計画策定事業	小倉城統槽の防火改修工事等の基本・実施設計及び耐震補強実施設計を行う。	・令和4年度に策定する耐震補強計画に基づき、耐震補強実施設計を行う。また、防火改修工事等の基本・実施設計を行う。	10,400	18,200	7,800
21	○		<新>血倉山頂施設おもてなし向上事業	本市を代表する夜景名所である「血倉山」を日本新三大夜景都市全国1位に相応しいものとするため、展望台施設をリニューアルするもの。	・日本新三大夜景都市全国1位の獲得で、これまで以上に注目されている血倉山展望台施設のリニューアルを行い、その魅力の一層の向上を図る。		5,000	5,000
22	○		<新>宿泊税条例施行状況検討事業	令和5年度に見直しを行う宿泊税について、北九州市宿泊条例に基づき宿泊税を活用した観光振興への取組の効果検証や今後の活用の方向性についての検討等を行うもの。	・宿泊税条例施行後3年を迎える宿泊税について、宿泊税の活用状況や観光振興への取組についての効果検証を行い、今後の方針について検討を行うもの。		7,000	7,000
23	○		<新>市民を主役にした観光振興の可能性調査	コロナ禍を経て、体験・交流中心へ旅行ニーズの加速する中で、本市の観光への市民参加のあり方などについての基礎調査を行うもの。	・旅行ニーズが現地での交流や体験などを楽しむ形態へ変化している中で、本市においても、郷土の歴史や文化に特に深い造詣のある市民などの力をどう活用できるか検討するための基礎調査を行う。		2,000	2,000
24	○		<新>小倉城庭園植栽リニューアル事業	小倉城庭園の庭園植栽について、枯損木の撤去や新規樹木の植樹・植栽、老朽化した庭園部分の造作の改修など総合的な再整備を行う。	・開園以降20年以上が経過し、枯損木や樹形の乱れ等により「日本庭園」としての美観が低迷している庭園部分の総合的な再整備を行い、小倉城庭園を訪れる北九州市民や観光客へ日本庭園及び樹木の本来の美しさを伝える。		4,000	4,000
25			観光施設安全・安心推進事業	観光課が所管する施設や観光案内標識等について、利用者のための安全・安心対策を行うもの。	・観光案内標識の点検、撤去、補修 ・血倉山ケーブルカー軌道横樹木伐採 ・平尾台自然観察センター大規模改修に係る備品購入	6,600	6,600	0
26			全国産業観光フォーラムin北九州開催事業	ものづくりの歴史がある本市ならではの観光コンテンツである産業観光の魅力やPRし、本市への誘客につなげるため、産業観光に関する国内最大のフォーラムの開催及び産業観光協力事業所の受入態勢強化等を図る。	・コロナ禍でほとんどの産業観光施設は工場見学等をストップしており、令和3年次の産業観光見学者は約11万1千人と、令和元年の約54万7千人から約80%も減少している状況である。ついては、産業観光に関する国内最大のフォーラムである「全国産業観光フォーラム」を誘致し、アフターコロナにおける産業観光を本市から全国に発信する。 ※本事業は令和4年度に開催予定であったが、令和3年度に開催予定であった「全国産業観光フォーラムin小田原市」が、コロナ禍により令和4年度に延期されたため、令和5年度に開催することになった。	13,000	12,000	-1,000
27			観光施設個別施設計画策定事業	観光客の安全安心な施設利用を図るため、計画的な維持管理を行う予防保全によって、観光施設の長寿命化に取り組み、ライフサイクルコストの縮減と支出の平準化を図る。	・血倉山ビジターセンター、ケーブルカー山麓駅舎・山上駅舎、山頂展望台及び別館について、個別施設計画を策定する。	3,000	2,000	-1,000

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
28	○		<新>グリーン成長を見据えたEVバス等活用事業	ゼロカーボンシティの実現に向けた観光分野における脱炭素の取組を加速化させる事業として、EVバスで市内の日本夜景遺産を巡る夜景ツアーや修学旅行誘致促進のための洋上風力を活用したモニターツアーを実施する。	・ゼロカーボンシティの実現に向けて、令和4年2月に「北九州市グリーン成長戦略」を策定した。観光分野においても、脱炭素の取組を推し進め、市外からの来訪者だけでなく、市民にもカーボンニュートラルに対する理解を深めてもらう必要がある。この取組を通じて、観光分野におけるGXの取組をPRしていく。		8,000	8,000
29	○		<新>市内宿泊施設・観光施設のDX促進事業	コロナ後の旅行需要の拡大、インバウンドの復活を見据え、本市の宿泊施設等によるDXの加速に向けた助成を行い、その推進モデルの創出を目指す。また、観光施設等についてはキャッシュレス化促進を支援する。	・観光産業が抱えている課題の一つである「デジタル化の遅れ」に取り組むため、市内宿泊施設等や観光施設等においてDXの取組に対して助成を行い、利用者の利便性向上、事業者の生産性向上に向けた支援をする。		16,000	16,000
30			AIMビル賃借料	AIMビル賃借料・共益費	—	26,772	26,772	0
31			日本新三大夜景都市施設魅力向上事業	血倉山山上展望台トイレ改修工事にかかる経費	・今後より多くの観光客の来訪が見込まれる血倉山展望台について、観光地が行うべき環境整備として、使いやすい、きれいなトイレへと改修を行う。		17,500	17,500
32			公用車リース経費	公用車のリース経費	—	571	571	0
33			小倉城・小倉城庭園指定管理事業	小倉城・小倉城庭園の管理運営に要する指定管理料	・指定管理者との契約に基づき、指定管理を行う。	80,200	64,000	-16,200
34			平尾台自然観察センター指定管理事業	平尾台自然観察センターの指定管理料	・福岡県が定める指定管理料の半額を負担する。	13,837	13,500	-337
35			観光関連施設整備事業	観光案内板・観光施設の維持補修や改修を実施する事業	・令和4年度と同様に観光案内標識の補修等を行う。	1,831	1,831	0
36			血倉地区等観光施設管理事業	血倉山をはじめとする観光施設の法定点検や占用手続等、維持管理運営を行う。	・令和4年度と同様に、血倉山頂展望、ビジターセンター、菅生の滝などの維持管理や運営に係る経費の支出を行う。	24,052	24,052	0
37			観光振興一般事務	一般事務費	—	18,434	17,941	-493
38			観光客動向実態調査事業	本市における観光客の動向や特性を把握することにより、観光施策を効果的に推進するもの。	・本市の観光動向を調査し、今後の観光施策に活用する。	1,000	950	-50
39			血倉山ケーブルカー運行事業	血倉山ケーブルカー・スロープカーの運行に必要な鉄道設備等の大規模改修やオーバーホール等を実施する。	・整備計画に基づき、オーバーホールを実施する。	20,970	19,921	-1,049
40			血倉地区等観光振興事業	本市の魅力的な観光地エリアの周遊性を高め、集客を図ることを目的として、イベント開催や情報発信を行う。	・令和4年度と同様に、血倉地区をはじめ小倉城や門司港レトロなどで、様々なイベントや情報発信を行う。	7,741	7,610	-131

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
41			観光振興推進事業	エージェン特等へのセールスや情報発信、観光プロモーションを実施し、観光振興を図る。	・継続的なセールス活動を実施し、リピーター観光客の確保や滞在時間の延長を促進するとともに、観光資源の発掘・磨き上げの強化により、来訪者の満足度向上を図る。	20,406	19,686	-720
42			東アジア観光客誘致推進事業～ビジット北九州～	主に、韓国・台湾・香港・中国をターゲットにし、市内観光関連企業とともに外国人観光客に対する誘致の推進を図る。	・外国人観光客の本格的な回復に向けて、北九州空港への直航便の就航再開が見込まれる東アジア向けプロモーションを強化するとともに、福岡空港に直航便が多く就航し、訪日客数の伸びが大きい東南アジアへのプロモーションを実施する。	13,164	12,816	-348
43			四都市交流連携事業	鹿児島市・熊本市・福岡市と連携し、東アジア等からの更なる観光客誘致を目指す。	・外国人観光客の本格的な回復に向けて、従来ターゲットとしていた東アジアに加え、東南アジアや欧米豪からの誘客も目指し、各都市と更なる連携強化を図りながら事業に取り組む。	2,500	2,500	0
44		○	北九州「新たな旅のスタイル」促進事業	ワーケーションなどの新たな旅行ニーズやマイクロツーリズム需要を取り込むため、体験型などの観光メニューの発掘、市内周遊モデルコースの造成及び効果的なプロモーション等を実施し、本市へ観光客誘致を促進する。	—	20,000		-20,000
45		○	八幡東田発！市内周遊観光創出事業	令和4年春に大型複合施設のオープンに伴い多くの来訪者が見込まれる八幡東田地区への来訪者の調査分析を行うとともに、観光案内による情報発信や周遊モデル事業を実施する。	—	30,000		-30,000
46		○	宿泊税モニタリング調査事業	令和5年度に見直しを行う必要がある宿泊税について、北九州市宿泊条例に定めのある施行状況の検討を行うため、宿泊税を活用した観光振興への取組の効果検証や今後の活用についての検討等を行う。	—	6,000		-6,000
47		○	しろテラスの整備に係る埋蔵文化財整理事業	しろテラスの整備に伴い実施した埋蔵文化財発掘調査について、発掘された遺物など資料の整理や報告書の作成及び刊行を行う。	—	6,000		-6,000
48		○	血倉山プレミアム夜景創出事業	血倉山頂からの夜景は、平成30年に「日本新三大夜景都市」に認定された本市の中でも代表的な夜景スポットである。その血倉山において、「プレミアム夜景の日」と題して特定の期間に、より夜景観賞地として特徴的なおもてなしを行うことで、観光客が血倉山へ赴く契機を創出し、観光商品価値の磨き上げを図るもの。	—	7,500		-7,500
49		○	次期観光振興プラン策定事業	次期観光振興プラン（令和6年策定予定）の策定に向け、新型コロナウイルス感染症の影響により変化した観光形態や新たなニーズを把握するための市内観光動向の調査の実施。	—	5,000		-5,000

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 門司港レトロ課		重点項目	・門司港レトロ地区のにぎわいの創出。					
	課長名	大浦 太九馬		コスト	事業費	人件費	目安の金額	課長 1 人	係長 2 人
			令和5年度当初予算額(A)	550,790 千円					
			令和4年度当初予算額(B)	759,455 千円					
			増減額(A-B)	-208,665 千円					

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○		<新>門司港レトロ地区回遊性向上事業	レトロ地区全体の周遊性を高めるため観光案内板の見直しなどの基礎的なインフラ整備や専門家の招聘・PRなどによる新たな魅力発見・コンテンツの充実に取り組むもの。	・門司港レトロ地区を来訪する観光客は滞在時間が短いため、物販や宿泊などの観光消費額が少ないという課題を抱えている。このため、地区全体の周遊性を高めることで稼げる観光地としての取り組みを推進する。		17,500	17,500
2	○		<新>和布刈りブランディング事業	国立公園の大自然パノラマや、豊富な歴史遺産を有する和布刈地区を再興するため、地域資源のブランド化や磨き上げなどを行うもの。	・観光地としての和布刈地区のブランド化や集客力の向上に取り組む。		12,500	12,500
3			門司港レトロ・和布刈地区夜のにぎわい創出事業	門司港レトロ・和布刈地区の「滞在時間の延長」「回遊性の向上」に加え、地域のにぎわいを取り戻すため、夜間景観を生かした夜のにぎわいを創出。	・門司港レトロ・和布刈地区の長年の課題である「滞在時間の延長」「回遊性の向上」に加え、コロナ禍で打撃を受けた地域のにぎわいを取り戻すため、夜間景観の魅力の周知と夜間観光客の増加に向けた取り組みで両地区の夜のにぎわいを創出する。	10,000	10,000	0
4			門司港レトロリニューアル事業（施設更新）	利用者に安心して観光施設を利用してもらうために、関門海峡ミュージアムの外壁・屋根等の経年劣化に伴う改修工事を実施するため、実施設計を行うもの。	・施設の機能維持を図る。	22,500	7,700	-14,800
5			門司港レトロ建築物老朽化対策事業	観光客や貸ホール利用者が訪れるサイクリングターミナルの屋根、外壁及び門司港レトロ観光物産館（公共棟）の空調改修工事を行うもの。	・施設の機能維持を図る。	40,000	4,900	-35,100
6	○		<新>歴史的建造物改修事業	歴史的建造物であり、門司港レトロを象徴する財産である重要文化財・旧門司三井倶楽部を火災等による消失から守り、観光客等に安心して利用してもらうために、旧門司三井倶楽部の防災設備の更新を実施するもの。	・施設の機能維持を図る。		1,900	1,900
7			和布刈地区観光拠点化推進事業	老朽化の進む潮風市場の跡地を和布刈地区の新たな観光目玉となる観光拠点として整備するため解体するもの。	—	7,000	24,000	17,000
8			歴史的建造物耐震改修事業	歴史的建造物であり、門司港レトロを象徴する財産である登録有形文化財・旧大阪商船の耐震補強に向けた補強計画の策定を行うもの。	・施設の機能維持を図る。	7,800	7,800	0
9	○		<新>九州鉄道記念館PFIサウンディング事業	九州鉄道記念館の老朽化に伴う大規模修繕や魅力向上のためのリニューアルを実施するため、施設改修及び維持管理・運営を含めたPFI手法の実現に向けたサウンディング調査を実施する。	—		2,500	2,500
10			門司港レトロ観光列車推進事業（運行補助金）	門司港レトロ観光列車の運行事業者である平成筑豊鉄道株式会社に対し、運行事業収入と運行に必要な経費の差額を補助するもの。	—	18,000	18,000	0

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11			門司港レトロリニューアル事業（施設更新以外）	本市を代表する観光地において、利用者に安心して観光施設を利用してもらうために、施設の維持、点検を行うもの。	・施設の機能維持を図る。	7,500	7,500	0
12			門司港レトロ観光列車整備事業	老朽化の進む門司港レトロ観光列車の施設設備について、毎年の施設設備定期検査報告に基づき計画的な修繕を行い、安全・安心な運行を行うもの。また線路内には雑草等が茂っており、列車の運行の妨げになるため、定期的な除草を行うもの。	・老朽化の進む施設設備の中で、特に修繕の必要性が高いものを修繕し、列車を安全・安心に運行する。	6,500	6,500	0
13	○		<新>関門海峡ミュージアム20周年記念事業	平成15年4月開館の関門海峡ミュージアムの20周年を記念する式典について、市制60周年記念事業の一環として執り行うもの。	—		4,000	4,000
14			門司港レトロ地区産業観光施設指定管理者制度導入事業（指定管理）	門司港レトロ地区産業観光施設の指定管理料	—	365,809	373,289	7,480
15			観光施設管理運営事業（門司港レトロ課）（公共）	三宜楼の維持管理及びその他施設の維持補修、観光列車運行に係る鉄道用地借地代等	・施設の機能維持を図る。	11,549	11,549	0
16			門司港レトロ観光推進事業（その他）	官民一体となった門司港レトロの観光振興	・観光地としての価値の維持・向上を図る。	32,980	32,775	-205
17			観光振興一般事務（門司港レトロ課）（その他）	門司港レトロ課一般事務費	—	8,738	8,061	-677
18			土地取得特別会計公債特会繰出金（産業経済局分）	門司区東港町12番（旧四建跡地）の土地購入の際に銀行から借り受けた債務の利子分償還経費	—	3,990	316	-3,674
19	○		門司港レトロ地区観光施設長寿命化事業	門司港レトロの観光施設について、選ばれる観光地として、観光客の安全安心な施設利用を図るため、計画的な維持管理を行う予防保全によって、観光施設の長寿命化に取り組み、ライフサイクルコストの縮減と支出の平準化を図る。	—	9,000		-9,000
20	○		ミステリーツアー関門エリア開催事業	関門エリアが国民的アニメの舞台として取り上げられることを機に、下関市と連携し、同アニメを活用した観光プロモーションを実施。	—	20,000		-20,000
21	○		日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡”PR事業	関門エリアで日本遺産サミットが開かれる機会を捉え、誘客促進のため、日本遺産を活用したオンラインツアーとデジタルスタンプラリー等を実施。	—	8,000		-8,000
22	○		歴史的建造物耐震改修事業（債務）	歴史的建造物であり、門司港レトロを象徴する財産である旧門司三井倶楽部（重要文化財）の耐震補強、保存修理等を行うことで、付加価値を高め、集客の拠点とするもの。	—	180,089		-180,089

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 MICE推進課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・都心部へのさらなる集客促進 ・MICE誘致の推進 					
課長名	平野 健治	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	766,637 千円	人件費	目安の金額	課長	2 人
				令和4年度当初予算額(B)	792,994 千円		係長	3 人	
				増減額(A-B)	-26,357 千円		職員	6 人	
				98,000 千円					

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			情報誌「雲のうえ」都市イメージアップ事業	情報誌「雲のうえ」を発行するほか、本市のにぎわいづくりを推進する民間のリーダー組織の活動を支援する。	・年2回の発行を維持しながら、内容の更なる充実と、安定的な発行に向け広告等収入の増加を図る。	10,830	10,794	-36
2			わっしょい百万夏まつり	本市のにぎわいを創出し、集客促進や経済効果を目指すため、わっしょい百万夏まつりの開催経費の一部を助成する。	・設営費や運営費、警備費等の高騰に対応しつつ、安全第一とした祭りを実施し、まちなぎわいを創出することにより、市民が誇れる祭りを目指す。	44,700	44,700	0
3	○		<新>(仮称)わっしょい百万夏まつり市制60周年記念事業	本市の市制60周年を記念し、わっしょい百万夏まつりで企画する記念事業経費の一部を助成する。	・市制60周年記念事業として、既存イベントの充実や広報の強化を図り、祭り参加者の増加や更なる集客と経済効果を目指す。	8,000	2,000	2,000
4	○		(仮称)わっしょい百万夏まつり第35回記念事業	第35回を迎えるわっしょい百万夏まつりの記念事業経費の一部を助成する。	—			-8,000
5			まつり振興補助事業	本市のにぎわいを創出し、集客促進や経済効果を目指すため、市内の祭りに対して開催経費の一部を助成する。	・コロナ禍においても祭りへの助成を維持し、にぎわいの創出や集客促進を図る。	14,580	14,980	400
6			民間イベント支援事業	民間団体等が実施するイベント等の事業費の一部を助成することで、本市のにぎわいを創出させるとともに、民間団体等が恒常的・継続的・自主的にイベント等を実施していく将来的な土壌作りを行う。	・まちなぎわいにつながる事業やイベントについて、新規性や話題性を求めつつ、実施にあたってはコロナ収束を見極め、感染症対策に留意し、にぎわいの創出を図る。	2,500	2,500	0
7			MICE誘致推進強化事業	MICE誘致の重要なインセンティブとなるMICE開催助成金制度を実施する。	・MICE開催助成金のうち、感染症対策特別支援制度を改正することで制度拡充し、情勢の変化にあわせた効果的な運用を図り、引き続き「国際MICE都市北九州」を目指す。	88,000	88,000	0
8			グローバルMICE都市推進事業	国からグローバルMICE強化都市に選定されたことを契機に、本市のMICEに関する取組を強力に推進していくとともに、MICE開催都市として認知度や総合的な魅力向上を図っていき、「国際MICE都市北九州」を目指す。	・コロナ禍の限られた状況のなか、キーパーソンと密に連携し、アフターコロナを見据えた活動を行っていく。	5,000	4,800	-200
9			産業見本市開催事業	本市の特性を活かした展示会を開催し、市内産業の活性化に寄与する。	・関係機関と連携し、効果的な展示会となるよう実施していく。	1,600	1,354	-246

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10			北九州国際展示場管理 運営業務	国際展示場の指定管理料	・北九州国際展示場の指定管理業務が効果的に行われるよう、指定管理者と経費を含めて連携を図っていく。	296,479	296,270	-209
11			北九州国際会議場管理 運営等業務	国際会議場の指定管理料	・北九州国際会議場の指定管理業務が効果的に行われるよう、指定管理者と経費を含めて連携を図っていく。	194,524	194,920	396
12			北九州国際展示場施設 整備事業（債務負担）	国際展示場の設備改修工事	・債務負担内容に基づき、適切に実施していく。	9,520	9,520	0
13			都心集客推進事業	都心部のにぎわい創出及び集客交流の推進を図るイベントや企画を実施する。	・小倉駅新幹線ロエリアの主要施設と連携し、都心全体の回遊性を向上する。	8,112	7,812	-300
14			TGC北九州2023開催事業	史上最大級のファッションイベントである「東京ガールズコレクション」とのコラボイベントを本市で開催することで、地方創生に向け新たなイメージ創出とともに、地域の活性化を図る。	・市制60周年事業と連携（予定）することで、更なる街のにぎわい創出を図る。	35,000	35,000	0
15			COOL KITAKYUSHU推進事業	本市の持つマンガやアニメなどのポップカルチャーを発信するとともに都心部のにぎわいづくりを行う。	・市制60周年事業と連携（予定）することで、更なる街のにぎわい創出を図る。	36,000	18,334	-17,666
16			MICE推進拠点整備事業	課の一般事務費	・MICE推進等事業の実施にあたり、施設や組織を適切に運営していく。	3,755	3,471	-284
17			公用車リース経費	車両リース代	—	198	382	184
18		○	公用車リース経費	車両リース代	—	196		-196
19			「Withコロナ」での民間イベント支援事業	コロナ禍における新しい形態の民間イベントの支援・育成を行う。	・コロナ禍におけるにぎわいの創出による経済回復を目指し、コロナ対策や安全面（警備）などを考慮したイベント助成を行う。	10,000	10,000	0
20			北九州国際展示場施設 整備事業	国際展示場の修繕等経費	・本市MICEの中核施設である北九州国際展示場の長寿命化を図るため、優先度をつけ適切に維持・補修していく。	24,000	20,300	-3,700
21		○	<新>北九州国際会議場施設整備事業	国際会議場の修繕等経費	・本市MICEの中核施設である北九州国際会議場の長寿命化を図るため、優先度をつけ適切に維持・補修していく。		1,500	1,500

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 企業立地支援課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地促進による雇用創出 ・地元企業支援 						
課長名	石橋 孝通	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	2,349,296 千円	人件費	目安の金額	課長	4	人
				令和4年度当初予算額(B)	2,484,864 千円		係長	7	人	
				増減額(A-B)	-135,568 千円		職員	10	人	
				191,000 千円						

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			首都圏企業誘致推進事業	首都圏に本社を置く優良企業に対し、迅速かつ積極的な誘致活動を行う。	—	4,992	6,398	1,406
2			企業立地促進事業	本市への企業立地を促進するため、企業向けのパンフレットやホームページ等による情報発信、立地企業と地元企業との交流会開催などを行う。	・市外からの立地促進、市内企業の増設・事業拡大に向けた支援の継続や人材採用支援等の強化など、雇用創出の拡大や企業の集積に向けた誘致活動に取り組む。	18,336	17,557	-779
3			産業振興一般事務（企業立地支援課）	企業誘致を進めていく上での諸活動経費（一般事務費）	—	2,466	2,343	-123
4			企業立地促進補助金	市内立地（新設・増設）企業に対し、一定の雇用を創出する場合に、補助金を交付する。	・重点産業に対する新たなインセンティブを検討中。	1,570,000	1,517,000	-53,000
5			企業立地促進資金融資	市内において工場、事業所等を新增設しようとする企業に対し、低利な融資を提供することで、企業立地を促進し、本市経済の振興及び雇用の創出・拡大を図る。	—	110,000	110,000	0
6	○		<新>企業誘致推進事業（重点）	効率的な新規企業へのアプローチと確度の高い企業誘致を推進していくため、コンサルティング会社等より企業の紹介を受け、立地が決定した場合に成功報酬を支払う制度を導入する。	・効率的な新規企業へのアプローチと確度の高い企業誘致を推進していくために、コンサルティング会社等より企業の紹介を受け、立地が決定した場合に成功報酬を支払う制度を新設した。		7,200	7,200
7			航空機産業誘致促進事業	本市における航空機産業の振興を図るため、福岡県と共同で航空機関連企業の誘致に取り組むとともに、地元企業の新規参入、事業拡大に向けた支援を行う。	・新型コロナウイルス感染症の影響により低迷していた航空機産業の回復を見据え、福岡県と連携した誘致活動や地元企業支援に継続して取り組む。	2,000	1,937	-63
8		○	自動車産業取引拡大支援事業	地元企業の技術力などの情報発信やビジネスマッチングを行う。	・次世代自動車産業拠点化事業と事業統合し、新たに<新>立地企業サポート事業とする。主要事業該当部分は次世代産業推進課へ事業移管済み。	3,575		-3,575
9		○	次世代自動車産業拠点化事業	「次世代自動車産業拠点の形成」実現に向け、関連産業の集積や人材育成等に取組む。	・自動車産業取引拡大支援事業と事業統合し、新たに<新>立地企業サポート事業とする。	5,109		-5,109

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10			進出IT関連企業への人材採用支援事業	進出後のIT企業への人材確保を目的に、九州・山口地域の大学や高専などとのネットワークを活かして、企業の採用担当者として市職員による学校訪問や学内企業説明会、マッチングイベントの実施など伴走型によるサポートを実施する。	・学校のニーズに応じた学内イベントを開催することで、教員・学生へのPRの機会をこれまで以上に獲得するとともに、オフィス見学ツアーや認知度向上イベントの実施により、市内IT企業での就業環境等を教員・学生に強力にインプットし、就職促進を図る。	6,000	6,000	0
11			オフィスリノベーション補助金	IT企業等を新規に呼び込むため、また、市内拠点の増設を促すための受け皿が不足していることから、企業に選ばれるオフィス環境の整備を目的とし、市内オフィスビル等を改修する者に対して補助金を交付する。	・市内オフィスビルについて、IT関連企業に選ばれる良質なオフィスへのリニューアルを継続して促すため、補助対象期間を延長する。	30,000	30,000	0
12			本社機能移転等PR事業	本社機能等の移転のため、本市の優位性であるBCP等のPRを行い、企業誘致を図る。	—	3,515	3,341	-174
13			オフィス立地促進補助金	市内オフィスビルへ事業所を設置（賃借）する企業へ補助金を交付する。	・従来の補助メニューに加え、再エネ電力費の補助を新規追加することで、更なる企業誘致およびカーボンニュートラル推進につなげる。	180,000	150,000	-30,000
14			産業支援団地維持管理	サイエンスパーク及びテクノパーク八幡西（調整池）の維持管理を行う。	・引き続き、適正な維持管理に努める。	2,171	2,171	0
15	○		<新>産業用地創出推進事業	空港や高速道路ICに近く、産業用地として高い需要が見込まれる地区について、産業団地整備の事業化実現性を検討する。	・市所有産業団地の分譲率が97%に達していることから、企業誘致の受け皿となる新たな産業用地を創出するため、産業団地整備の事業化実現性を検討する。		8,000	8,000
16			北九州空港跡地産業団地整備事業	北九州空港跡地の一部を、地域への波及効果の高い自動車関連企業を中心とした新産業拠点とするため、産業団地の整備を行う。	・企業立地を進めていくため、関係部局と調整を図りながら造成工事等を進める。	204,934	266,200	61,266
17			北九州臨空産業団地整備事業	北九州空港及び東九州自動車道の整備により、立地ポテンシャルが上昇する小倉南区朽網地区に、生産物流機能を持った企業の集積を図るため、産業用地の整備を行う。	・分譲地（貸付含む）は平成28年度に完売したため、地区内の維持管理に努める。	1,511	1,557	46
18			サイエンスパーク整備事業	産業用地整備特別会計で購入したサイエンスパークの一部について、企業ニーズに応じた用地を確保するため、必要に応じた整備を行う。	・企業立地を進めていくため、積極的に当該用地の紹介を行う。	169,364	169,300	-64
19			公債償還特別会計繰出金	公債償還に関する経費	—	119,891	2,943	-116,948
20	○		自動運転関連産業推進事業	自動運転分野への市内企業の参入、研究開発施設の本市への立地並びに自動運転技術を活用した新ビジネス等の創出等を図る。	・次世代産業推進課へ事業移管済み。	4,000		-4,000

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
21			次世代スマートビル建設促進事業	地方進出を考える企業から選ばれる、魅力あるオフィスビルの新規供給を促すため、感染症予防・デジタル化などの機能を実装する、一定規模の賃貸用オフィスを整備する事業者に対し、ビルの建設費及び解体費を補助するもの。	—	0	0	0
22			おためしサテライトオフィス推進事業	本市で新たなサテライトオフィスをはじめとした事務所などの設置を検討する首都圏のIT企業等に対し、検討に係る経費（旅費、宿泊費、コワーキングスペース）の支援と、サポート体制の構築により、本市での企業のマーケティングを伴走型で支援し、首都圏からのサテライト拠点誘致につなげるもの。	・これまでの実績、企業ニーズを踏まえ、令和5年度は拠点設置検討企業に対する立上げサポートや市内企業との連携・交流イベントを強化し、より効果的な事業実施を目指す。	25,000	23,000	-2,000
23			ITリカレント教育「everiGo」プロジェクト推進事業	IT業界への就職希望者を主なターゲットとして、人材の掘り起しとリカレント教育による人材育成を図るとともに、企業とのマッチングを行うことで、中途IT人材分野の採用支援を強化する。	・北九大の実施する講座「everiGo」と連携し、一体となった受講生の募集、賛同IT企業の拡大（13社→17社）、企業との交流会の頻度を増やし企業と受講生とのマッチングの創出等を行う。	12,000	10,200	-1,800
24		ITリカレント教育「everiGo」プロジェクト推進事業（追加）	0			600	600	
25			次世代産業誘致推進事業	サプライチェーンの強靱化や世界的な脱炭素化を見据え、今後の成長が見込まれる次世代産業を誘致するため、エネルギー転換やPPA導入など、カーボンニュートラルの視点で北九州市の立地優位性を見える化し、活用することで更なる誘致につなげる。	・次世代産業の誘致にあたり、業界の動向を捉えたアプローチに加え、PPA手法による再生可能エネルギーの導入、脱炭素効果の事例等を立地提案に活用する。	3,000	3,000	0
26	○		アフターコロナ等を踏まえた企業誘致推進事業	新型コロナウイルス感染症をはじめ、脱炭素やDXなど企業を取り巻く環境が大きく変化する中、時代に則した企業誘致を進めるため、本市の産業構造等に関する基礎調査を行い、効果的な企業誘致の推進を図るもの。	・令和4年度で事業終了。一部「企業誘致促進事業」に統合。	7,000		-7,000
27	○		<新>IT Scrum KitaQ事業	進出IT企業や地場企業、教育機関など産学官が一体となって、誘致対象となる首都圏IT企業をターゲットに、本市の魅力や強みを広くアピールする「IT Scrum KitaQ」プロジェクトを実施する。	・産官学が連携し、ビジネスや就職マッチング、交流会の開催やプロモーションなどを通じて、北九州市の優位性や強みを広く発信することで企業誘致を加速させ、さらなる人材や企業の呼び込みを目指す。		2,000	2,000
28	○		<新>立地企業サポート事業	市内事業所や市外の本社等への定期的な企業訪問を通じ、各企業の業況等を把握するとともに、市内事業所への新たな投資について働きかけを行う。	・自動車産業取引拡大支援事業と次世代自動車産業拠点化事業を事業統合し、新たに<新>立地企業サポート事業とする。		2,549	2,549
29	○		<新>インベスト北九州推進事業（企業誘致加速化事業）	企業の経営層へのアプローチや首都圏での本市企業誘致に関するプロモーションを強化することにより、半導体、電気自動車等次世代産業やIT企業の誘致を加速する。	・企業の新たな投資を決定する経営層へのアプローチや首都圏での本市企業誘致に関するプロモーションを強化することで、効率的かつ効果的に誘致活動を推進する。		6,000	6,000

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 物流拠点推進室		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・物流拠点構想に掲げた施策の推進 ・集約拠点化に向けた支援 ・産学官連携による物流施策の推進体制の構築 		
課長名	池田 弘幸	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	43,015 千円	目安の金額 46,500 千円 課長 1 人 係長 2 人 職員 2 人
				令和4年度当初予算額(B)	41,118 千円	
				増減額(A-B)	1,897 千円	

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			物流活性化推進事業	本市の物流の活性化に向けて必要な施策の調査研究を行うほか、物流事業者や荷主企業等、有識者、行政の産学官で構成する「北九州市物流懇話会」において、物流業界における課題等をテーマとしたシンポジウムや勉強会を開催し、本市の物流活性化を推進する。	・本市の物流施策の推進体制をより強固なものとするため、Web会議方式の併用による非接触の参画等、多様な参画方法を提供しながら、市内物流関係事業者を中心に「北九州市物流懇話会」への更なる参画を促していく。	7,000	4,000	-3,000
2			九州発貨物の集約拠点化支援事業	本市が有する陸海空の物流インフラを活用し、物流の活性化を促進するため、九州の発貨物を本市に集積させる取組みを支援する。支援策の第一弾として、北九州市中央卸売市場内等における農産物を集約した首都圏向けフェリー輸送に対して、必要となる経費の一部を補助することで、農産物の集約拠点化を支援する。	・令和5年度は、対象となる輸送先地域を拡張する等の制度拡充を行い、九州産農産物について本市への更なる集約を図っていく。	34,000	31,000	-3,000
3	○		<新>半導体サプライチェーン構築調査事業	「物流拠点化の推進」に向けてTSMC等の進出により大きな貨物需要増が見込まれる半導体をターゲットに、「半導体物流ハブの形成」に向けた調査事業を実施する。	—		6,000	6,000
4			物流振興一般事務	物流振興に関する一般事務費	・物流活性化推進事業のうち、一般事務費に係る予算を本事業に統合した。	118	2,015	1,897

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 農林課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・農林業の生産基盤の整備 ・担い手の育成 ・多面的な価値の創出 						
課長名	下元 昭二	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	934,632 千円	人件費	目安の金額	課長	2	人
				令和4年度当初予算額(B)	909,784 千円		160,500 千円	係長	4	人
				増減額(A-B)	24,848 千円			職員	13	人

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			中山間地域・生産環境 保全支援事業	一定傾斜以上の中山間地域内農地を保全する集落に対する交付金及び地球温暖化や生物多様性に保全効果の高い営農活動を行う農業者に対する交付金制度。	・国事業を活用して、農業・農村の多面的機能の維持・発揮のために行われる地域活動や営農活動に対して支援を行う。	15,582	15,468	-114
2			多面的機能支援事業	農業者と一般市民による活動組織が取組む農村環境の保全活動に対する交付金制度。		15,940	14,759	-1,181
3			農地中間管理事業	農地中間管理機構や人・農地プランを活用して、担い手への農地集積、集約化を進める。	・国の政策目標に従い、農地中間管理機構や人・農地プランを活用して、担い手への農地集積、集約化を進める。	2,450	2,440	-10
4			人づくり担い手対策事業	新たな農業従事者の育成や、営農組織・認定農業者等への経営診断及び活動支援などを行い、農業分野における担い手を確保・育成する。	・新たな農業従事者の育成や、営農組織・認定農業者等への経営診断及び活動支援などを継続するとともに、関係機関との協働の強化を進める。	23,106	21,234	-1,872
5			農作物生産振興対策事業	安全・安心な市内産農作物の生産振興の消費拡大を図るため、関係機関と協力し、農業者の育成や市民に対して消費宣伝等を行うもの。	・体験学習の実施に際し、支援を行う。	1,101	1,049	-52
6			経営所得安定対策等推進事業	農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、食糧自給率の向上と農業の多面的機能を維持するため、経営所得安定対策の実施に必要となる、地域段階の推進活動の必要経費を助成するもの。	・国の政策目標に従い、農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、食糧自給率の向上と農業の多面的機能を維持するため、経営所得安定対策事業の地域段階の推進活動を継続する。	5,000	5,000	0
7			都市型園芸農業推進事業	地域特性を活かした野菜、花き、果樹等の生産量の増大と生産性の向上を図るとともに、農地の有効利用促進を図るため、都市型園芸に必要な生産・出荷の整備に対する助成を行うもの。	・認定農業者等の経営改善のため事業に取り組む。	9,590	9,590	0
8			野菜価格安定・流通対策事業	市内産野菜の安定的市場供給の促進のため市場価格低迷時に価格補てんを行うもの。	・契約野菜の生産振興に取り組み、生産量の増加とともに契約野菜を利用した農業者の経営改善を目指す。	8,173	7,296	-877
9			農業経営融資事業 (貸付・利子補給)	農業協同組合が農業者に貸し付ける資金の一部を預託。また、農業改善のための資金の利子補給を行うもの。	—	3,961	3,966	5
10			活力ある高収益型園芸 農業確立対策事業	生産基盤整備のための助成を行い、生産面積の拡大と生産性の向上を図る。	・農業者の所得向上のため、農業者からの要望が多い施設整備に対し支援を行うことで、本市の誇るブランド野菜等の生産拡大と生産性の向上を目指す。	64,193	6,883	-57,310

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11			未利用施設等財産活用事業	未利用施設の利用推進を行うとともに、利用が見込めないものについては、建物の解体撤去後、市有地の売却を行い、公有財産の効率的利用を図る。	・建物解体の合意が取れたものから順に解体・撤去を行い、更地になった市有地の売却を行っていく。	20,000	8,200	-11,800
12	○		<新>未利用施設等財産活用事業(債務)				9,691	9,691
13			土地改良施設維持管理適正化事業	農業水利施設(土地改良施設)の整備・補修を計画的に実施する。	・農業用施設の適切な管理を行い、管理コストの削減を図る。	10,682	10,682	0
14			農業用施設財産維持管理事業(公共)	ため池や農道・水路などの市有農業用施設の維持補修等を行う。		49,500	49,500	0
15			農業用施設財産維持管理事業(その他)	ため池や農道・水路などの市有農業用施設の維持管理を行う。		97,334	117,728	20,394
16			農業用施設等管理事務	八幡西区木屋瀬地区を灌漑する「直方市・北九州市岡森用水組合」の規定に基づき、負担金を支出する。	・岡森用水の適切な管理を行う。	12,175	12,305	130
17			農家年長者創作活動施設管理運営費	農家年長者創作活動施設(島郷親和苑)の維持管理を行う。	—	300	285	-15
18			市有ため池緊急対策事業	市有ため池の侵入防止フェンスの改修等を行う。	・計画的に市有ため池への侵入防止フェンス設置を進め、安全確保を図る。	5,450	2,000	-3,450
19			農業用基金積立金	「農業用施設維持管理基金」に運用益や県からの維持補修費を積み立てる。	—	200	200	0
20			ほ場整備推進事業	若松区有毛浜田地区等において、農業の生産基盤としてほ場整備を行い、耕作放棄地の解消や耕地集積・集約化を進め、担い手の確保や稲作等から高収益作物への転換を行う。	・事業の実施に向け、国や県との協議に向けた基本設計の修正作業を行う。	0	0	0
21	○		<新>農村環境整備事業	一定規模以上の農業用施設の改良工事を行う。	—		29,200	29,200
22			土地改良事業	農道やため池、水路、井堰などの農業用施設について、小規模な維持補修、改良工事を行う。	—	36,999	36,999	0
23			樋門管理事務	国土交通省が設置した笹尾川・黒川水系の洪水防止用樋門等の操作・点検を行う。	—	10,886	10,681	-205
24			鉱害対策事務	休廃止鉱山の鉱害防止活動を支援する。 石炭鉱害の申請を受け付ける。	—	847	1,023	176

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
25	○		<新>農業用施設水害防止対策事業	堰や水門が原因となっている水害を防止するため、必要な改修等を講ずる。	・浸水被害等の拡大を防ぐため、堰の改修を行う。		20,000	20,000
26			ため池劣化状況評価等実施事業	「防災重点農業用ため池に係る防災工事の推進に関する特別措置法」に基づき、防災工事の必要性を判断するため、劣化状況評価等を実施する。	・防災重点農業用ため池の劣化状況評価、地震・豪雨耐性評価を計画的に実施する。	96,500	96,500	0
27			特用林産振興事業	高品質な特用林産物（たけのこ等）の生産基盤整備のため、竹林改良、作業道整備、設備導入等を行う。	・生産振興に取り組む箇所や団体を掘り起こし、特用林産物の生産拡大を図る。	1,800	1,800	0
28			市営林事業（補助・市単）	市有財産である市営林の人工林の経済的な価値を高めるとともに、森林の公益的機能を最大限に発揮させるため、適正な管理を行い、健全な森林の育成に努める。	・間伐等の手入れを行い、森林の健全な育成に努める。 ・市営林の立木評価を行い、市営林の更新を進める。	3,290	3,290	0
29			荒廃森林整備事業	長期にわたって手入れが行われずに荒廃したスギ林、ヒノキ林において、強度間伐を実施し、公益的機能を長期に発揮できる森林を目指す。 森林公園等において、展示効果の高い森林の整備を実施する。自伐林家の体制構築のための自伐用機材導入に対し助成を行う。	・県への事業メニューの拡充を提案し、柔軟な事業実施を図る。	75,500	90,000	14,500
30	○		荒廃森林整備事業（拡充）	長期にわたって手入れが行われずに荒廃したスギ林、ヒノキ林において、強度間伐を実施し、公益的機能を長期に発揮できる森林を目指す。 森林公園等において、展示効果の高い森林の整備を実施する。自伐林家の体制構築のための自伐用機材導入に対し助成を行う。	—	15,000		-15,000
31			地域林業振興事業	林業者を確保するため、森林組合の育成強化等を図る。また、私有林の造林や保育作業を行う林業事業体、森林整備等の活動を行う団体への支援を行い森林の健全な育成を図るもの。	・森林組合に対して、技術研修会等への積極的な参加や林業者の確保について啓発する。 ・平成30年度から森林整備等の活動を行う団体への支援を行う。	1,504	1,504	0
32			市民の森等管理事業	旧林業振興センターの管理や香月市民の森、足立山森林公園、高蔵山森林公園、血倉・帆柱環境林を市民に快適に利用していただくため、広場、遊歩道等施設の適正な管理に努める。	・維持管理については、令和4年度と同様の手法で執行するとともに、資産のさらなる有効活用に努める。 ・森林公園等については、整備範囲に優先順位をつけ、予算の範囲内で計画的に執行する。	6,324	5,224	-1,100
33			平尾台防火帯設置事業	平尾台地区の林野火災を防止し地域住民の財産保全及び安全を確保するため、山林及び住家、諸施設への類焼防止に必要な防火帯設置に対して助成するもの。	・市費の削減を図るため、国や県の補助メニューの活用などについての検討を継続する。	9,700	9,700	0
34			林道整備事業	森林の持つ公益的機能の増進、林業における生産性の向上と山村地域の振興・生活環境の改善を図るため林道の開設・改築を行い、維持管理に努める。	・市費の削減を図るため、国や県の補助メニューの活用し、林道開設等の整備を進めるとともに、予算の範囲内で効率的に維持管理に努める。	43,200	43,200	0

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
35			林業管理事務	私有林の育成指導、保安林、治山事業、林地開発、森林計画等に係る業務等の林業振興全般に要する事務費及び北九州自然休養林巡視業務、負担金(2団体)	・事業の見直しを行い、より効率的な業務の執行に取り組む。	3,242	1,964	-1,278
36			竹循環システム支援事業	放置竹林の解消を図るため、竹林の他樹種への転換、竹材を買い取り販売する制度の構築に取り組む。	・竹材利用を進めるための集材システムを維持するとともに、企業や大学と連携しながら、新たな竹材の活用方法等の検討を進める。	3,531	3,531	0
37		○	畑(第2)線林道災害復旧事業	平成30年の豪雨で被害を受けた当該地区の復旧事業を行う。	—	3,000		-3,000
38			森林環境保全事業	パリ協定における温室効果ガス削減の達成に向け森林吸収源の拡大や森林整備等を行う。	・森林所有者の意向調査等を踏まえ、木材を算出する森林の集約、団地化による木材生産を行うとともに、造林・保育を進め、森林資源の循環利用を図る。 ・放置竹林対策の啓発や、竹材活用促進のためのプラットフォーム構築により、放置竹林対策の強化を図る。 ・温室効果ガスの吸収源としての市営林を目指し、J-クレジット登録に係る調査等を行う。	58,967	65,967	7,000
39			森林機能向上事業	パリ協定における温室効果ガス削減の達成に向け森林吸収源の拡大や森林整備等を行うための林道等の改修、整備を行う。	・森林整備の基盤となる林道整備として、特に豪雨災害を予防する観点で維持・補修を行う。 ・市民が森林と触れ合う森林公園の整備や、総合農事センターで木材を使用した施設整備を実施する。	51,325	43,352	-7,973
40			農政一般事務	農業行政の総務調整等	—	7,000	6,650	-350
41			地元いちばん・地産地消推進事業	地産地消を推進するため、農林水産物の消費宣伝、地産地消サポーター活動の充実などを行う。本市で生産される品質が優れ評価の高い産物をブランド産品(特産品)として、そのブランド力を向上させ、消費拡大、生産振興を図る。	・コロナ禍でも開催可能なリモートによる見学会の検討をはじめ、ホームページや、SNS、マスコミ等を通じて市内農林水産物の情報発信を積極的に行い、認知度向上を図り、地産地消を推進していく。	3,636	3,350	-286
42			公用車リース経費	農林水産部が所有する公用車の更新に伴う経費	—	296	296	0
43			未来の農業スマート化推進事業	国の進めているスマート農業を本市の有する最先端の工業技術を活用して、種々の課題を解決しながら新たな農業の展開を進める。	・国の「スマート農業加速化実証プロジェクト」事業を活用して市内農業の課題解決を図る。	60,000	34,000	-26,000
44			ため池防災整備事業	国による農村地域防災事業等の制度を有効に活用し、ため池の安全性の向上を図る。(ため池の整備及び統廃合)	・防災重点農業用ため池に対する防災減災を効果的にかつ速やかに実施する。	29,400	36,300	6,900
45			ため池防災管理事業	国による農村地域防災事業等の制度を有効に活用し、ため池の安全性の向上を図る。(ハザードマップ等ソフト施策)	・防災重点農業用ため池に対する防災減災を効果的にかつ速やかに実施する。	29,000	28,500	-500

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
46			農業用水路等施設長寿命化事業	農業用施設の長寿命化計画を策定する。	・施設の点検補更新について機能保全計画を策定し、将来にわたる施設の延命化、更新費用の平準化、コストの抑制を図る。	5,000	7,300	2,300
47			農地の大区画化・集約化推進事業	担い手の生産性の向上を推進するため、地域の話し合いを通じた将来計画の策定や、畔（農地間の区切り）の除去などの農地の大区画を支援する。	・地域の農地の将来計画の策定や、農地の集積・集約化を行うための畦畔除去等の作業に対して助成を行い、担い手の経営規模の拡大やスマート農業の推進を図る。	7,300	6,100	-1,200
48			豊かな実りを育む農地再生事業	北九州市農業委員会が遊休農地（現に耕作されておらず、今後も耕作される見込みがない農地）と認定した農地を耕作可能な状態まで復旧し、翌年度以降耕作を行う農業者を支援する。	・遊休農地を解消するための作業に対して助成を行い、生産力の低下、有害鳥獣や害虫の発生等の問題解決を図る。	1,800	1,800	0
49	○		<新>土地改良施設維持管理適正化事業（拡充）	農業水利施設（土地改良施設）の整備・補修を計画的に実施する。	・農業用施設の適切な管理を行い、管理コストの削減を図る。		8,175	8,175
50	○		<新>地域おこし協力隊による農村発イノベーション推進事業	農業分野において「地域おこし協力隊」制度を活用し、隊員を地域の「火付け役」として地域おこしの実践を行う。これにより、農業に関係する又は関心のある人々を取込み、多様な担い手の交流による「農村発イノベーション」の創出を行う。	・農業地域を活性化し持続可能なものにしていくため、地域おこし協力隊を活用し、「農」をコアとした地域おこしの実践に取り組む。		5,400	5,400
51	○		<新>多様な主体の活躍の場を広げる農福連携推進事業	農福連携に関する実証事業や調査を実施し、「知られていない」や「踏み出しにくい」などの課題を解決することで、農業者や障害者就労支援施設にとってWIN-WINとなる農福連携の推進を目指す。	・様々な農家、障害者就労支援施設が参入しやすい「作業受委託」に関して実証事業や調査を実施し、農福連携実施にあたっての手間や費用、導入のメリットを広く周知し、市内での取組の推進を図る。		3,500	3,500
52	○		<新>農業振興地域整備計画策定事業	概ね10年を見直し策定する農業振興地域整備計画は、前回見直し（平成26年）から10年後となる令和6年度に、法律に基づく見直しの時期を迎えるため、令和5年度から基礎調査に取り掛かる。	・令和6年度の農業振興地域整備計画の策定に向けて、基礎調査を実施する。		8,000	8,000
53	○		<新>市民の森橋梁長寿命化対策事業	緊急輸送道路である北九州都市高速4号線を跨ぐ香月市民の森の歩道橋について、長く安全に利用し、効果的・効率的に機能維持するため、橋梁の安全及び長寿命化対策にかかる点検・調査を行う。	・現状での安全性の確認や、今後の長期的な機能維持のため、歩道橋の点検・調査を行い、長寿命化計画を策定する。		4,500	4,500
54	○		<新>竹粉碎機更新事業	竹粉碎機貸出事業で運用している竹粉碎機について更新を図り、市民による放置竹林対策の促進を図る。	・竹粉碎機2台を更新し、放置竹林対策の一層の促進を図る。		3,050	3,050
55	○		<新>出荷資材高騰対策事業（農業）	原油価格の上昇や円安による出荷資材価格高騰の影響を受ける農林漁業者に対し、県が行う出荷資材経費の一部を助成する事業に上乗せして市の補助を行う。	・出荷資材経費の一部を助成することにより、物価高騰の影響を受ける農業者の経営の安定を図る。		15,500	15,500

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 水産課		重点項目 ・生産基盤の整備 ・担い手の育成及びビジネス化の推進 ・情報発信と連携促進 ・危機管理体制の確立						
	課長名	荒川 勉		コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	552,604 千円	人件費	目安の金額
			令和4年度当初予算額(B)	522,014 千円		109,000 千円	係長		3 人
			増減額(A-B)	30,590 千円			職員		9 人

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			つくり育てる漁業推進事業	種苗放流事業等に対する助成	・種苗放流など里海づくりを推進し、水産資源を増産する。	46,824	56,824	10,000
2			水産業振興資金融資事業	市内の漁業者に漁業経営上必要な資金を融資	—	4,000	4,000	0
3			漁業施設改善整備事業	共同利用施設等の整備に対する助成	・市内の漁業協同組合が行う共同利用施設の整備、また6次産業化グループが行う施設整備に対する助成を行う。	1,000	1,000	0
4			水産振興事務	水産振興にかかる協議会の負担金等	—	45	45	0
5			水産業成長戦略推進事業	将来の漁業の担い手の確保と育成を図るとともに、水産物のブランド力の維持強化を推進する。	・担い手育成対策事業を推進する。 ・市内産水産物のブランド力を強化する。特に、豊前海一粒かきをPRするため、「かき焼き祭り」を開催する。 ・安全安心な水産物の供給を推進する。	6,040	5,807	-233
6			水産環境整備事業	藻場や干潟等の保全や再生を行うと同時に、漁場環境を回復させることにより、水産物を将来にわたり安定的に供給するとともに、漁業経営の安定化を図る。	・藻場や漁場の造成など生産基盤の整備を重点的、計画的に行い、里海づくりを推進する。 ・漁場の維持・回復保全活動を支援する。	99,800	37,600	-62,200
7			離島漁業振興強化事業	持続的再生可能な漁業活動を推進するため、水産物の販売・生産面で不利な条件下に置かれている離島の漁業活動を支援し、周辺海域の環境保全や再生を行いながら離島漁業集落の経営の安定化を図る。(種苗放流事業等に対する助成。)	・種苗放流など里海づくりを推進し、水産資源を増産する。 ・漁業生産・加工・流通・交流等に関する取組の支援を行う。	8,508	8,508	0
8			スマート水産業推進事業	これまで長年の経験や勘で行ってきた漁業の効率化を図るため、大学と連携して最新の漁場や水産資源に関するデータを収集し漁業者に提供することで、漁業の生産性を向上を目指す。	・令和5年度は音響探知機によるデータの収集を継続するとともに、実際に調査海域で操業する漁業者に漁獲された魚種や漁獲量等の情報提供を依頼しGIS上の位置情報等と結び付けることを開始する。	5,000	5,000	0
9			水産物販売促進支援事業	漁協の水産物直販関連施設内に市内産水産物販売スペースを設け、市内漁協の水産物や加工品の販売を支援することにより漁業経営の回復やコロナ禍からの復活への原動力とする。	・新型コロナウイルス感染症の影響による漁業経営の改善対策として、市内漁業者の水産物や水産加工品の販売を支援することで、コロナ禍における漁業者の経営回復及びコロナ禍からの復活を目指す。	4,000	0	-4,000

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10	○		<新>子ども食堂への 地元水産物販売促進事 業	コロナ禍で経営が悪化している漁業者の支援と物価の高騰により運営が圧迫されている子ども食堂を同時に支援するため、旬に応じた地元水産物加工品の購入経費に対して補助金を支出する。	・漁業者の経営が安定するとともに、子ども食堂の運営についても、円滑に行うことができるようになる。 ・子ども家庭局と連携することにより、食育についても大きく寄与することとなる。		0	0
11			釣り 棧橋維持管理事業	脇田海釣り 棧橋の維持管理	—	7,945	7,987	42
12			馬島給水事業管理運営 費	上下水道局が行う馬島給水事業に対し、管理運営にかかる経費の一部を負担	—	3,094	3,101	7
13			海岸漂着物処理推進事 業	藍島、馬島の海岸に漂着したゴミの回収及び離島海岸清掃ボランティア団体への補助	—	3,579	3,540	-39
14			漁港照明灯LED化事業	北九州市環境モデル都市計画に基づき、漁港照明灯全数をLED化する。	・事業計画に基づき計画的に照明施設をLED化する。	2,500	2,500	0
15			釣り 棧橋機能保全事業	脇田海釣り 棧橋の施設の長寿命化を目的に、機能保全計画を策定し、保全工事を行う。	・機能保全計画に基づき計画的に補修・改修を行う。	1,000	2,200	1,200
16			漁港維持管理事業（公 共）	漁港施設、脇田海水浴場、多目的広場等の維持管理	・施設の老朽化に伴う補修工事を行う。	30,000	30,000	0
17			釣り 棧橋維持管理事業 （維持補修費）（公 共）	脇田海釣り 棧橋の維持補修	—	763	763	0
18			フィッシャリーナ維持 管理事業（公共）	脇田漁港フィッシャリーナの維持管理	—	19,500	19,500	0
19			漁港維持管理事業（そ の他）	漁港施設、脇田海水浴場、多目的広場等の維持管理	—	3,784	3,722	-62
20			釣り 棧橋維持管理事業 （維持補修費）（そ の他）	脇田海釣り 棧橋の維持補修	—	30	70	40
21			フィッシャリーナ維持 管理事業（その他）	脇田漁港フィッシャリーナの維持管理	—	360	342	-18
22			水産物供給基盤整備事 業（単独）	国の補助が適用できない水産基盤の整備のうち、必要不可欠なものを市単独で整備する。	・漁港施設の整備、既存施設の維持保全を行う。	9,100	9,100	0
23			水産物供給基盤整備事 業（補助）	漁業活動の効率化や防災機能の強化を図るため、国の補助による水産基盤の整備を行う。	・漁港施設の新規整備や既存施設の機能保全工事、機能強化工事を行う。	179,500	247,400	67,900

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
24	○		<新>馬島給水施設漏水対応事業	上下水道局が行う馬島給水事業に対し、漏水が判明したため、補修作業を行うもの。	・馬島海水淡水化装置の維持管理。 ・六連島から馬島間海底送水管補修作業。		11,700	11,700
25	○		<新>脇田海釣り桟橋休憩所外壁改修事業	休憩所の外壁の老朽化に伴う改修工事を行う。	・脇田海釣り桟橋休憩所の外壁（タイル）において、建具付近や柱の広範囲にひび割れしている箇所、さらに、スロープ裏面や柱の鉄部においても、錆及び腐食が著く、倒壊の危険があり、早急に改修工事を行う。		17,700	17,700
26			繰出金（漁業集落排水）	漁業集落排水事業への繰出金	—	39,942	28,385	-11,557
27			漁業集落排水管理運営事業	漁業集落排水処理施設の維持管理	・島民の生活基盤を維持するため、施設の老朽化に伴う補修工事を行う。	27,076	15,389	-11,687
28			水洗便所改造助成貸付事業	汲み取り便所を水洗便所に改造する際に、助成や貸付を行う。	—	420	420	0
29			繰出金（公債償還）	漁業集落排水処理施設の整備にかかる公債償還	—	17,204	17,191	-13
30			予備費	漁業集落排水特別会計の予備費	—	1,000	1,000	0
31	○		<新>馬島給水施設漏水対応事業	上下水道局が行う馬島給水事業に対し、管理運営にかかる経費の一部を負担しているが、漏水が判明したため、漏水分の水道料金及び漏水箇所特定に係る調査費用を負担する。	—		2,300	2,300
32	○		<新>筑前海区漁業振興基金積立事業経費	基金の運用に必要な経費	—		10	10
33	○		<新>出荷資材高騰対策事業（漁業）	原油価格の上昇や円安による出荷資材価格高騰の影響を受ける農林漁業者に対し、県が行う出荷資材経費の一部を助成する事業に上乗せして市の補助を行う。	・出荷資材経費の一部を助成することにより、物価高騰の影響を受ける農業者の経営の安定を図る。		9,500	9,500

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 鳥獣被害対策課		重点項目	・鳥獣被害対策に関する危機管理体制の確立						
課長名	柳川 尚孝	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	25,236 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				令和4年度当初予算額(B)	21,470 千円		係長	2	人	
				増減額(A-B)	3,766 千円		職員	3	人	
				54,000 千円						

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			有害野生鳥獣被害対策事業	イノシシ・サルなどの野生鳥獣による市街地や農作物被害に対応するため、わなや銃による捕獲や追払いのほか市民相談や現地対応、市民啓発等を実施する。	・被害対策の効果が認められた対策を継続していく。	10,927	10,647	-280
2			農作物等鳥獣被害防除対策事業	農作物へのイノシシや野鳥などの野生鳥獣対策を行う。	・電気柵設置への補助等、被害対策の効果が認められた対策を強化する。	5,006	5,752	746
3			『森と畑を守る』シカ対策事業	新たに有害野生鳥獣対策が必要となるシカの被害防止対策を行う。	・シカの密度が増えないよう、捕獲体制を継続していく。	661	661	0
4			有害鳥獣対策車両リース事業	鳥獣被害対策課専用車両の導入。	—	276	276	0
5		○	サル被害防止啓発事業	市街地への出没が急増するサルによる被害を防ぐため、看板、チラシを作成し、注意喚起を行う。	・事業廃止（令和5年度から、「ハナレザル・アライグマ等被害対策事業」に統合）	1,600		-1,600
6			ハナレザル・アライグマ等被害対策事業	近年急増している人なれしたニホンザルによる人的被害や、アライグマ等による農作物被害に対応するため、捕獲わなの設置や被害防止のための注意喚起や啓発を行う。	・アライグマについては、被害相談が増加しているので、対策を強化していく。	3,000	2,000	-1,000
7		○	<新>有害鳥獣捕獲体制強化事業	有害鳥獣捕獲で使用する資材の高騰対策として、今後も駆除従事者に継続して有害鳥獣捕獲を行ってもらうため、イノシシ及びアライグマの捕獲頭数に応じた負担金を交付するもの。 また、カラス対策として捕獲檻の設置管理及び忌避スピーカーの貸出を行う。	・猟友会員等の有害鳥獣駆除従事者に、イノシシ及びアライグマの捕獲頭数に応じた負担金を交付し、捕獲体制の強化を図る。 ・若松区で急増しているカラス対策として、捕獲等を実施する。		5,900	5,900

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 総合農事センター		重点項目	・ビジネス化の推進、情報発信と連携促進				
課長名	山本 隆雄	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	125,069 千円	目安の金額	課長	1 人
				令和4年度当初予算額(B)	173,135 千円		係長	2 人
				増減額(A-B)	-48,066 千円		職員	5 人
				人件費	69,000 千円			

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			SDGs(持続可能な)農業支援事業	農事センターの施設を利用して、環境負荷低減に向けた試験研究に取り組む。	・竹パウダーの土壌改良効果に加え、有用微生物の保持・増殖機能について試験を行うことで、有機農業用資材としての活用の可能性について検証を行うこととした。	1,200	1,200	0
2			新規就農者スマート農業チャレンジ事業	総合農事センター内の温室に環境自動制御とAIやICT技術等を導入し、新規就農者や半農半Xでも熟練者並みの栽培を可能とする施設に改修する。それを研修生等に貸与し、スマート農業技術や経営スキルの習得と円滑な就農に繋げるもの。	・バイオマスボイラー導入による温室環境制御に係るエネルギーの低炭素化や地域資源の活用を進めることとした。	8,000	4,400	-3,600
3			総合農事センター管理運営事務(指定管理)	民間事業者の発想を取り入れた創意工夫によって利用者へのサービスを向上させ、集客増加を図るとともに、管理運営に係る経費削減や施設管理を円滑かつ効率・効果的に進めるため、公園区域について指定管理者制度を導入した。	・令和5年度からの第2期指定管理期間(令和5年4月～令和10年3月末)に伴う、園内管理事業等の人件費、管理経費の精査を行った。	39,477	42,350	2,873
4			総合農事センター管理運営事務(その他)	公園区域について指定管理者制度を導入しているが、試験研究区域については引き続き、都市型農業の振興を図るため農業の新技术の導入などの農業に関する課題解決を行う。併せて、市民に農業を紹介し、市民の学習や理解に寄与する施設として、当センターの管理・運営を行う。	・新たな農業担い手づくりのための研修や、農業者・事業者からの要望に基づく試験栽培等を引き続き実施するもの。	15,002	14,617	-385
5			総合農事センター管理運営事務(公共)	公共施設の適正な維持・保全のため、施設の修繕および定期点検等を行う。	・老朽化した電気・水道等のインフラの更新を計画的に行うことで、利用する市民の安全性・快適性の向上を図る。	3,140	3,140	0
6			総合農事センター施設整備事業	経年劣化により安全性や機能が低下している箇所について、求園者の安全と施設の機能維持のため施設の改修や補修を行う。	・排煙設備改修による安全性の向上や、照明のLED化を進めることで省エネルギー化を進める。	2,500	4,300	1,800
7			総合農事センター施設整備事業(老朽化)		・建築都市局による調査による危険度リストを基に、緊急度の高い不具合箇所(屋根防水、外壁補修等)の改修を引き続き行う。	80,000	20,700	-59,300
8			畜産公害防止施設設置事業	家畜飼育に伴って生じる水質汚染、悪臭、衛生害虫等の発生を防止するために必要な施設、機械等の設置に対して助成する。	・畜産農家支援だけでなく近隣住民の生活環境を保全するという目標に資するため、前年と同額を確保した。	650	650	0

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9			畜産経営融資関連事業 (貸付金・利子補給)	市内畜産農家に畜産公害防止に必要な資金を融資するとともに、資金借受者に対して利子補給を行い、経営の安定と振興を図る。 小倉牛生産農家に素牛導入資金を融資して、小倉牛の生産振興を図る。	—	7,032	6,688	-344
10			健康で元気な「卵・にわとり」づくり事業	市内養鶏農家が実施する鶏伝染病等の発生予防のワクチン接種及び衛生管理に必要な経費の一部を助成する。また、本市のブランド鶏である「小倉ふる里どり」を展示しながら生産し、生産者支援を行いながら、市民へのブランド浸透を図る。	・伝染病予防や展示飼育に必要な経費であるため、前年と同程度の予算を確保した。	1,051	1,050	-1
11			家畜診療防疫事業	市内畜産農家で飼育されている家畜の疾病の予防、治療並びに衛生管理の指導等を実施することにより、畜産経営の安定と振興を図る。	・病畜の診療に加え、人工授精等の繁殖管理を強化する。	1,538	1,598	60
12			畜産振興事業	総合農事センターにおいて家畜を研究飼育しながら来園者に展示し、市民への畜産業の知識普及を図るとともに、畜産農家の農業所得の増加、経営の安定化を目指す。	・畜産農家農業所得増加のために、市内繁殖牛の増頭支援を強化する。	13,545	13,976	431
13	○		<新>飼料価格高騰畜産農家支援事業	飼料価格高騰が続く畜産農家を支援するため、国事業の助成対象外の飼料に対して、価格上昇分の一部を助成する。	・飼料価格上昇分の一部を助成することにより、畜産農家の経営と畜産物価格の安定を図る。		10,400	10,400

令和5年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 中央卸売市場		重点項目 ・卸売業者が市場内敷地で卸売場機能を併せ持ったストックポイント（SP）施設整備に係る工事費について、国の交付金を活用した補助を行う。 ・市場の安全性や機能性を確保するため、緊急性の高い施設改修や更新工事等を実施する。 ・「市民感謝デー」の開催等を通じた市場の認知度向上、市場機能の理解促進、「食」の大切さの啓発及び魚食普及など、卸売市場の取扱高増加に向けた施策を推進することにより、さらなる活性化を図る。							
	課長名	大貝 光司		コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	1,100,800 千円	人件費	目安の金額	課長 1 人
						令和4年度当初予算額(B)	1,340,600 千円		係長 4 人	
						増減額(A-B)	-239,800 千円		職員 10 人	
		126,500 千円								

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			卸売市場再整備事業	施設老朽化や品質管理高度化に対応するため、長期的な視点のもと、市場施設の建替えや長寿命化等の市場再整備を行う。	・令和4年度 SP工事費(国補助) 401,097千円 ・令和5年度 SPシステム開発・導入費(県補助) 30,000千円	456,000	60,423	-395,577
2			農産物等自動選別・加工用機械導入支援事業	人手不足等への対策として、市場関係者が流通・加工で使用する農産物等の自動選別機、加工用機械等を整備する費用を助成する。	—	/	13,452	13,452
3			市場施設大規模緊急改良	市場機能の向上に向けた施設整備及び施設の老朽化に伴う改修等(大規模かつ緊急的なもの)	—		100,000	92,358
4			市場設備一般改良	施設の老朽化に伴う整備(一般工事・点検)	—	81,311	159,564	78,253
5			公設地方卸売市場「市民感謝デー」支援事業	公設地方卸売市場(水産物部)で開催される「市民感謝デー」を、開設者として支援する。	—	2,200	2,200	0
6			北九州市子ども料理王選手権	北九州市卸売市場協会が開催する「子ども料理王選手権」の開設者負担金	—	1,500	1,500	0
7			卸売市場流通振興事業	集荷対策の強化。食育の推進、人材育成等を目的とする北九州市卸売市場協会「市場みらい塾」への補助金	—	800	800	0
8			市場管理費	市場運営に関する管理費	—	27,400	21,073	-6,327
9			施設維持管理費	施設の維持管理費、光熱水費及び保安警備・庁舎管理・電気機械設備保守等に係る委託料など	—	396,290	497,933	101,643
10			職員費(市場)	市場事業の職員費	—	154,941	161,427	6,486
11			繰出金	公債償還特別会計への繰出金(市場施設大規模緊急改良及び市場設備一般改良に伴い起債した市債の償還金)	—	118,158	88,070	-30,088
12			予備費	予備費	—	2,000	2,000	0